



 **福井大学**
UNIVERSITY OF FUKUI
大学案内2006



無限の可能性を ひとりひとりの未来につなげる——。

福井大学は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、独創的にかつ地域の特色に鑑みた教育科学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い、専門医療を実践することを目的としています。

C O N T E N T S	
[学長からのメッセージ]	
「福井大学」へようこそ	1
[DISCUSSION]	
福井大学を知りたい！伝えたい！－福井大学長 in 若狭－	2
[福井大学の教育・研究]	
GP 特色ある教育活動への取組	7
教育・研究の成果 福井大学発ベンチャー	11
21世紀COE 世界最高水準の研究教育拠点形成への取組	12
[学部紹介]	
教育地域科学部	14
医学部	18
工学部	24
[Campus life]	
キャンパス紹介	30
サークル紹介	32
福大生の1日・1週間・1年	34
就職支援	36
[国際交流]	
学術交流協定校MAP	38
留学しました	
[DATA]	
学生募集人員・入学者地域別一覧・入学者の地域別分布	40

教育・研究で最先端を行く

「福井大学」へようこそ



児嶋 眞平学長
(こじま しんぺい)

1936年京都市生まれ。1944年に福井県丹生郡志津村(現・福井市)へ疎開。1955年藤島高校卒業まで清水町で育つ。1955年京都大学工学部工業化学科入学。1959年富山県魚津市にある日本カーバイド工業(株)に就職し、研究所に勤務。2年後(1961)に、研究室の助手に採用され、再び大学へ戻る。研究分野は、有機金属化合物を用いる有機合成化学。アメリカ合衆国ワシントンD.Cにある米国カトリック大学化学教室へ留学(1967-68)。帰国後の翌年(1969)京都大学教養部助教授。1986年京都大学教養部教授、1991年京都大学評議員、1992年京都大学総合人間学部教授、京都大学で大学改革・改組に参画。1993年-96年総合人間学部長、1997年福井大学学長現在に至る。

平成16年4月に全ての国立大学が国立大学法人となりました。それを契機にして、教育面でも研究面でも、特色を出しつつ内容の充実をはかろうとする大学間競争が、いよいよ激しくなってきました。

福井大学は、平成11年に学部組織と教育を大きく改革して、教育・研究の活性化をはかってきました。ここ数年間の優れた教育実績が認められて、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」に教育地域科学部と文京キャンパスが各1件、「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に医学部と工学部が各1件、「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム(医療人GP)」に附属病院、「大学・大学院における教員養成推進プログラム(教員養成GP)」に教育地域科学部と合計6件が次々と採択されました。いずれも3倍～10倍の競争率でした。大学院教育GPを集計から除くと、全国の国公私立大学の中でわずか3学部の本学が第3位にランク(本学集計)されています。これは、他大学から見ても驚異的な採択数で、福井大学でいかに特色ある優れた大学教育が活発に行われているかが、わかっていただけたと思います。

さらに、工学部では、創成型の「ものづくり」工学部教育と、創業型の実践的な大学院工学教育に、大形の予算配分を受けて、ユニークで高度な工学教育が始まりました。

一方、福井大学の研究もきわめて活発です。なかでも、高エネルギー医学研究センターの医療画像診断に関する研究は、世界を大きくリードしています。また、遠赤外線開発研究センターも、この分野では絶えず世界をリードする優れた研究成果をあげてきました。両センターへは、世界中から多くの研究者が訪れます。

これらの研究センターだけでなく、教育学研究科、医学系研究科、工学研究科でも、きわめて高度な学術研究が、あらゆる分野で進められています。最先端の繊維科学を研究し、繊維産業を支える優れた人材を育成している工学研究科「ファイバーアメニティ工学専攻」(平成14年設置)と、原子力産業の安全と共生を研究し、原子力分野の高度専門職業人を育成する工学研究科「原子力・エネルギー安全工学専攻」(平成16年設置)は、地元福井県はもとより全国から、最も熱い視線を集めつつあるところ です。

福井市の中心部にある文京キャンパス、九頭竜川のほとりにある広々とした松岡キャンパスは、いずれも緑が溢れています。快適な教育・研究環境で、充実した学生生活を過ごすことができる福井大学を、多数の意欲溢れる若人が志望されんことを、私は大いに期待しています。





福井大学を知りたい！伝えたい！

福井大学長 in 若狭



上／児嶋学長自らが法人化された福井大学をPR。
下／熱心に耳を傾ける高校生。



若狭高校で嶺南の高校生に向けて初の福井大学説明会が開かれました。

福井県で唯一の国立大学へぜひ！！

児嶋学長：福井大学が法人化して3年目を迎えますが、すべての国立大学の中でもより良い取り組みをしている優良な大学ということで、社会的にも良い評価をいただいています。先日のNHKの番組でも福井大学の最近の取り組みが紹介されました。各学部とも大変よくやっています。福井でただ一つの国立大学ですから使命感を持ってますます頑張っていかなければなりません。でも嶺北にあるということもあって嶺南からの学生さんが少ないというのが残念ですね。

内田副学長：私は滋賀の出身ですので、

若狭の方に来ると言葉が似ていることもあって、故郷に帰ってきたような親しみを感じます。今の時代、あらゆる可能性があります。若いときにいろいろ勉強してその中で好きなことを探していってもらいたいと思います。

学長：福井大学には教育地域科学部の他に、国立大学でも著しく規模の大きい工学部、それと医学部があります。最近では工学部でも、建築建設工学科などかなりの学科で女子学生が増えてきています。

嶺南出身の学生が少なくてさびしい…

教育地域科学部 理数教育コース 山根：勉強頑張ってぜひ福井大学に来てください。

医学部医学科 森：福井大学に来てください。

医学部看護学科 池野：もっと嶺南出身者が増えて欲しいと思っています。

工学部機械工学科 大谷：まだ高校ではやりたいことは見つかっていない人もいます。大学でいろいろ経験して見つけてください。

教育地域科学部 理数教育コース 久保：大学では探求ネットワークという活動をし

対談参加高校生

DISCUSSION



長浦 綾子
[敦賀高校]



矢鷹 知晃
[敦賀高校]



西本 早央里
[若狭高校]



宇多 浩美
[若狭高校]



福井 諒
[若狭高校]



山本 由貴
[敦賀気比高校]



奥村 有梨沙
[敦賀気比高校]



内田 千尋
[美方高校]



瀬尾 瑛史
[美方高校]

ていて、子どもたちと直にふれあうことができます。探求ネットワークは福井大学だけのとても素晴らしい取り組みだと思っています。

医学部医学科 大江：僕も嶺南の人が増えて欲しいですね。

医学部看護学科 山本：授業も楽しく、充実しているのでみなさんも大学生活を楽しみに頑張ってください。

教育地域科学部 芸術・保健体育教育コース 森本：将来先生になりたい人はぜひ福井大学を目指してほしいと思います。

小学校のころからの夢は幼稚園の先生になること

敦賀 長浦：今日は先輩たちと話ができると聞いて楽しみにして来ました。

敦賀 矢島：僕は教師になりたいと思っています。

若狭 西本：今日、学長先生や副学長先生に接して、先生たちの福井大学に対する熱い思いが伝わってきました。何かとても親しみがわいてきました。ぜひ入りたいです。

若狭 宇多：私は音楽の教員を目指しています。

若狭 福井：僕は地元で医者になりたいので福井大学の医学部を目指しています。

美方 瀬尾：知能ロボットに興味があるので工学部に行きたいです。

飛田教授：福井大学にはいろいろなプロジェクトがありますので、その中でみなさんのやりたいことが見つかるかもしれませんね。

美方 内田：私は教育地域科学部に入ってから、小学校のときからずっと夢だった幼児教育を学びたいです。子どもが好きなんです。

敦賀 気比 奥村：医学部に入れたらいいですね。

敦賀 気比 山本：私は英語の教師になりたいです。特に英語に自信があるというわけではないのですが、ぜひ福井大学に入ってから勉強したいと思っています。

学長：英語教育サブコースは教育地域科学部の中でも特に熱心です。このコースは大学の建物の4階にあるんですが、そのフロアでは「English only Policy」ということで英語しか話さないんです。また、卒業生4人の内、3人が現役で県内の教員に合格しました。

大学進学に向けて

飛田教授：今日は目的意識をしっかりと持っている人ばかりが集まってくれたという感じがですね。素晴らしいと思いますよ。

僕なんか学生時代にそこまではっきり進路を決めていたかと思ってしまいました(笑)。ところでみなさんの大学選びのポイントはどんなところでしょう。

山本(由)：分野ですね。

西本：私は地元という



DISCUSSION

児嶋 眞平 学長

(こじま しんぺい)

1936年京都市生まれ。1944年に福井県丹生郡志津村(現・福井市)へ疎開。1955年藤島高校卒業まで清水町で育つ。1955年京都大学工学部工業化学科入学。1986年京都大学教養学部教授、1992年京都大学総合人間学部教授、1993年-96年総合人間学部長、1997年福井大学学長 現在に至る。



DISCUSSION

内田 高峰 理事・副学長

(うちだ たかね)

1940年滋賀県長浜市生まれ。1967年京都大学大学院理学研究科化学専攻修了。1968年4月福井大学講師(教育学部)採用。1978年京都大学理学博士取得後、1982年から1年間オハイオ州立大学博士研究員。1998年共通教育センター長。2001年4月から2004年3月まで教育地域科学部長。



DISCUSSION

飛田 英孝 工学研究科材料開発工学専攻教授

(とびた ひでたか)

1960年京都市生まれ。京都大学工学部化学工学科、同修士課程修了後、1984年花王株式会社入社。1987年カナダ・オンタリオ州立McMaster大学大学院博士課程へ留学し、1990年Ph.D.取得。1991年より福井大学勤務。専門の化学工学関連科目のほか、環境問題や技術者倫理関係の授業も担当。



対談参加学生

DISCUSSION



山根 美穂 [若狭高校出身]
教育地域科学部 理数教育コース



久保 裕一 [敦賀高校出身]
教育地域科学部 理数教育コース



森本 和馬 [美方高校出身]
教育地域科学部 芸術・保健体育教育コース



森 美喜 [若狭高校出身]
医学部医学科



大江 秀樹 [敦賀気比高校出身]
医学部医学科



池野 由佳 [敦賀高校出身]
医学部看護学科



山本 愛 [敦賀高校出身]
医学部看護学科



大谷 友晃 [敦賀高校出身]
工学部機械工学科



ことがまず選択肢に入ります。

矢嵐：先輩の方たちに教えてもらいたいんですが、部活をやりながら勉強をするってなかなか難しかったと思います。どんな風にして両立していましたか？

森本：僕は3年の9月まで部活をしていました。大事なのは、まず授業をしっかり受けることです。それと、ほんのちよつとずつの時間も有効に使うことが結構大切ですね。

森：私もやはり授業が大事だと思います。睡眠もしっかり取って下さい。

飛田教授：大学の授業では90分と随分長いですから、その時間いかに集中するかがポイントです。うちの大学の先生はみな教育熱心ですから、みなさんが求めた分、きっと得られるものは大きいと思いますよ。

山本(由)：子どもと関わる時心の問題は大切だと思うんですが、今のうちにどのような勉強をしたらいいですか。



学長：そうですね。でもそれは大学に入ってから勉強しても十分に合いますよ。例えば探求ネットワークという取り組みがあるんですが、子どもと1対1で対話するなど、実践的な学習を行っています。

るんですが、子どもと1対1で対話するなど、実践的な学習を行っています。

実践力を重視した取り組み

久保：探求ネットワークの中には、10ほ

どのブロックがあります。僕のブロックでは、春、夏、秋にキャンプを行っています。2週に1回、そのキャンプに向けての計画を立てています。僕たちがやってしまうのは簡単ですけど、あえて子どもたちから考えを引き出すようにしています。これを4年間続けると子どもたちも成長しますが、僕たちにも力がついていくと思います。

学長：福井市内周辺の不登校児200人ほどを対象にし、1対1で交流するライフパートナーという大変実践的な教育も展開しています。

副学長：大学ではそのような実践的な教育体制になっています。今みなさんには、できるだけたくさんの本を読んで、いろいろなことを知ってもらいたいですね。

飛田教授：体験することたくさんありますが、時間は限られていますからね。本は有益です。教養というのは、最終的には人の気持ちを察することができるからです、いろいろなことを広く考える力を身に付けてほしいですね。

宇多：探求ネットワークについてもう少し詳しく知りたいのですが。

久保：これは必須ではないです。でも講義を聴くだけの授業ではなく、子どもたちに教えることで自分が学ぶことができます。実践ですから、教師になったとき必要な判断力を養えるなど、とてもいい勉強になります。

副学長：教育実習は、実は「教育実践研究」という科目名になっています。1年生のときから始まり、まずは他の先生が教えるのを見ていろいろなことを身に付けます。それから実習に入るので通常4週間の期間のところ福井大学では6週間かけて、実践力を重視したより特色ある教育を行っています。先に挙げられた探求ネットワークでは、実践に対して先生がフォローして単位化しています。

幅広い知識と人間性を養う取り組み

副学長：医学系でも、チュートリアルというシステムがとられています。学生の能動的な学習の啓発に有効的な教育です。

大江：僕はこれまでに2回受けたことがあります。少子化問題と、STD性感染症についてです。ここでは先生から与えられた課題について自分なりに考え、それぞれが発表していきます。発表するには勉強が必要ですし、人の前で発言するというのはとても勉強になると思います。調べることで知識も身に付きます。

西本：看護学科でも解剖とかありますか。

池野：医学科の人が解剖しているのを見学する授業があります。他専門学校から見学に来ますが、私たちは同じ校内ですから、その人たちに比べて多く見学できるチャンスがあります。





専門的な知識を学び 総合力を育てる

瀬尾：僕はロボットという分野に興味があるのですが、どんな勉強が必要ですか。

飛田教授：ロボットというのはいろいろな分野の総合力を必要としますから、まず数学、化学など全ての基礎的なことをしっかり勉強しておくことです。

学長：さらに工学部の人、4年間では勉強しきれないことがありますから、できれば大学院を目指してほしいですね。学部では入ってからいろいろな選択肢がありますから、より専門的なことを深めるには大学院で勉強するのがいいでしょう。自分の選んだ分野を一生懸命勉強しながら、さらに自分の進む方向を決め

ていってほしいです。

飛田教授：工学部は8学科ありますが、一緒に1つのプロジェクトを形成しています。将来それぞれの分野の考え方を知っていなければならない。僕もより専門的な仕事をするなら、大学院だと思います。

地元で働きたいから 地元の大学へ

飛田教授：大学は嶺北にあるんだけど嶺北はどんなイメージですか。

瀬尾：遠いイメージです。方言も違いますね。

飛田教授：将来も地元になりたいという人が多かったけど、きっと福井が好きなんだろうね。福井のいいところはどんなところかな。

福井：田舎でのんびりしているところです。

長浦：私は大阪で生まれて、小学校から嶺南に住んでいるんですが、海が近くて、水もおいしい。自然がきれいなことがいいですね。

飛田教授：そうですね。本当に福井は自然豊かですね。私も川で泳いだりするようになったのは福井に来てからです。(笑)

学長：実際自然が素晴らしいですね。落ち着いて生活できるし、その中に歴史と文化があります。

飛田教授：そうですね。ここ若狭高校の順造門もとても歴史があって170年も前のものだそうですね。

副学長：福井には歴史と文化があって、私もそれを誇りに思っています。まあ、いろいろなところを若いうちに見ておくことも必要ですけどね。

飛田教授：僕も見聞を広めることは大事だと思います。私は若狭高校に来たのは始めてだったんですが、今日のように嶺南の高校生と交流することは本当に有意義だと感じました。

学長：このあとも充実した高校生活を送ってそれぞれの希望にあった大学へ進学してください。待っていますよ。



170年の歴史を持つ若狭高校「順造門」前にて

講演・対談に参加して — 参加した高校生皆さんからのメッセージ —



大学の具体的な説明や特別な取り組みなどの話を聞き、ライフパートナーや探求ネットワークなどの取り組みにとっても興味を持ちました。対談での学長や先輩の話を聞き、先生になりたいという思いが強くなりました。



福井大学と他の国立大学との違いについての話を聞き、授業だけでなく実践力をつける活動をしていることに魅力を感じました。そして学長をはじめ、先生みなさんが明るくてユーモアがあって授業が楽しそうだなあと感じました。今日の講演、対談で、大学に行く理由をあらためて考えさせられました。それは「自分の夢への資格を得るため」ということです。ますます勉強へのやる気がわいてきました。



大学の教授と言うと、固いイメージがありましたが、今回の対談で払拭されました。高校だけでは分からないことが沢山分かって、大学に親近感や明るいイメージが持てました。



学長の話や、先輩学生の生の声を聞くことができ、より一層福井大学のことを知ることができました。



福井大学の個性溢れたよい面を知ることが出来ました。特に、医学部のコアカリキュラムやチュートリアル教育などの革新的教育などを聞いて、すごく魅力のある学校だと感じました。また、画像診断医療研究は、世界トップレベルだということも知って、本当にすごい大学なのだなあと感じました。



教育プロジェクトがすごく魅力的で特に探求ネットワーク活動がすごいと思います。これからますます個性の輝く大学になると思いました。このような大学で高い教養を身につけたと思いました。



パンフレットを読むだけでは分からない楽しさ、雰囲気が伝わってきて、この講演、対談に参加できて本当に良かったと思いました。また、これから始まる受験勉強の目標・励みになりました。



対談に参加した高校生は、みんな将来のことをしっかり考えていてとても刺激になりました。また、先輩の話は実体験だからなるほどと思うことがたくさんありました。やはり、今大切なのは、授業なのですね。毎日の授業に加えて、これまでの学習内容の復習は大変だと思いますががんばります。



今回の講演、対談で、今まで福井大学のことを調べていた中では知ることができなかったことまで詳しく知ることができてよかったです。



講演を聞いて、実践的教員養成プロジェクトなどという福井大学にしかないGPが魅力的だと思いました。また学長を始め、とても熱心で楽しい先生ばかりで、福井大学は本当にいい大学なのだなと実感しました。



パンフレットを取り寄せたりして福井大学のことを調べていましたが、講演を聞いて初めて知ったこともたくさんありました。看護学科志望なのですが、専門的な話をもっと聞きたかったです。



電気・電子工学を専攻している人でも、「副専攻」により機械工学の分野も学習できると聞き、とても興味がわきました。また、『私たちは学生の皆さんに口出しはしません。皆さんの能力を様々な方向に伸ばしてもらうために、知っている知識や方法だけを教えてあとは学生に任せます。』と言う言葉が印象に残っています。



今までは、教育地域科学部以外の学部を知る機会がありませんでした。でも、今日、工学部や医学部の説明も聞くことができ、各学部のすごさを知ることができました。また、数々の賞を授賞されていることを知り、また驚き、興味がわきました。



私は海も山もあって素敵な魅力がある、この魅力的な福井が大好きです。だからこそ、この地元に残って力を尽くしたいと思います。対談では、勉強法とか福井大学のあらゆるシステムや勉強内容を教えて頂けて、すごくためになりました。いろいろ空想していたら、とてもワクワクしました。



要点が大きく捉えられていて分かりやすい講演で、今まで知らなかった福井大学の一面を知ることができました。また、他校の生徒も一緒だったので、競争意欲にいい刺激が与えられました。



福井大学では、大学の魅力や取り組みを体験していただくために、一日遊学、オープンキャンパス、公開講座など様々なイベントを企画しています。これらのイベントに参加して、より魅力を感じてください！お待ちしております！！

イベントのご案内は <http://tiiki.ab.fukui-u.ac.jp/facp/> からどうぞ！



福井大学の教育・研究

GP 特色ある教育活動への取組

文部科学省は平成15年度から、各大学が取り組む教育活動の取り組みの中から、特色ある優れたものを選定し、重点的な財政支援などにより、高等教育の更なる活性化を目的とする大学教育改革の推進のための支援プログラム（GP=Good Practice）を展開しています。ここでは、本学のGPの取組を紹介します。

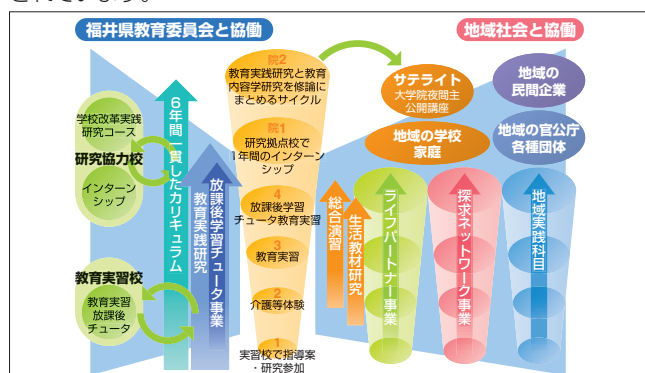


地域と協働する実践的 教員養成プロジェクト

取組代表責任者：教育地域科学部 教授 松木 健一

教育地域科学部では、4年間を通じた教育実践研究にて、教師として必要な実践的な知識や技能を、教育実習や附属学校研究大会の参観、介護等体験など地域の協力を得ながら体系的に学習します。また、不登校問題や学校5日制に対応し、10年前よりライフパートナー事業、9年前より探求ネットワークを、地域と協働して立ち上げました。ライフパートナーは、学生が不登校児の家庭や相談室等に出かけ、共に話し遊び学習の援助者になる活動です。この活動は授業によってサポートされ、教育委員会や現職教員が参加したケース検討会を行っています。市町村教育委員会の連携の下で、各自治体からの諸経費等のサポートを得て、現在130名の学生が220名の不登校児と1年間活動を共にしています。今後は、現場のニーズに対応して、軽度発達障害の子どもたちに対するサポートも行っていく予定です。一方、探求ネットワークは、子どもの主体的な学習活動を学生が支援し、共に創り上げていく活動です。隔週土曜日に300名の子どもが大学に集まり、120名の学生とそれぞれ興味のある分野に分かれ、1年間にわたって探求的な学習活動を繰り返します。学生は、授業やその合間の時間を使いながら活動の計画や反省を行い、実践的な経験を積み重ねていきます。そして、その成果は、学生と教員による発表の場を設け、他大学を招いた公開討論を毎年行っています。それにより客観的に自らの実践を捉え返し、他大学の実践を聞くことで新たな視点を取り入れながら絶えず活動を編み直しています。更に、地域の民間企業や官公庁、各種団体の協力を得ながら行われる地域実践科目なども展開し、社会的ニーズに対応した人材の育成に取り組んでいます。

こうした大学と地域が協働して行う実践的な教員養成の一連のプロジェクト群が福井大学の教育地域科学部において日々、実践されています。



地域と協働する実践的教員養成のプロジェクト群

【担当者の声】



地域と協働する実践的教員養成プロジェクトは今年で3年目を迎えます。これまで、e-ポートフォリオシステムの整備や無線LAN、電子掲示板などハード面での整備を進め、その活用についても一定の成果をあげてきました。今後はこれらの設備をより一層活用し、地域と協働した実践的な教員養成を展開していきたいと考えています。

教師の仕事は、学んだ知識技能を子どもに指導伝達するところにあるのではなく、子どもの視点に立って学問を再構成し、協働の学習活動の中で学問を再構成し、日々の実践を一つ一つ積み重ねていくことが必要です。そして、それを振り返りながら繰り返し造り直して、更に発展させていく反省的な実践を通して進められる、高度な実践の専門性が必要になります。福井大学教育地域科学部は、そうした実践力を地域と協働しながら育むと共に、そうした取組みの一つ一つが地域にとっても実りある実践になっていくよう、活力ある学生たちと共に一丸となって取り組んでいきたいと考えています。これからも地域と共にある福井大学として、地域にそして社会に貢献していける教員養成を行っていきたいです。



【学生の声】

〈ライフパートナー〉ライフパートナーの授業をもっと多くの大学が行うべきだと思います。きっと求めている子どもたちがいっぱいいるはずですよ。もっと沢山の大学が始めれば、一層発展するのではないかと思います。いずれにせよ、このような発展した授業に取り組んでいる福井大学は素晴らしいと思うようになりました。

〈探求ネットワーク〉私にとって、探求ネットワークとは、自分を育てていく場だと思っています。我々大学生スタッフと、小学生や中学生がそれぞれのブロックに別れて、一年間のプロジェクトを立ててプラン通り進めていき、最後に「なかまつり」という一つの集大成をつくるわけです。言葉にすればこのようなことになるわけですが、実際にやってみるとなかなかうまくいかないものです。大学生スタッフも自分の考えがある訳であり、子どもたちも自分の考えを持って参加しているわけです。時には意見をぶつけ合い、自分が考えていたことを上回るようなことが実現するときもあり、その逆にプラン通りに進まず、行き詰まって集中が切れてしまうこともあります。そのような状況に自分を置いていけば、知らず知らずの内に自分の考え方にも幅がで、実際にそのようなことを感じるのが幾度もありました。



より高い現代的な
教養教育をめざして

取組代表責任者：教育地域科学部 教授
(共通教育センター長) 大下 邦幸

大学教育の大きな特徴は、各課程や学科で行われる専門教育と共に、学生全員が専門に拘らず履修する教養教育（共通教育）があることです。専門教育は、それぞれの分野のスペシャリストとなることを目的としているのに対して、教養教育は、スペシャリストであると同時に、広い視野をもった心豊かな人間として、成長することをめざしています。教養教育は大学教育の約3分の1を占める重要なものですが、現在の社会状況を反映して、最近特に全国の大学が力を入れている教育です。それらの中で、福井大学文京キャンパス（教育地域科学部、工学部）で行われている教養教育は、他の大学の模範となる先進的な取組として高い評価を得、平成17年度の文部科学省特色GPに選定されました。

福井大学の教養教育の主な特徴は、まず、「社会」、「人間」、「文化」、「技術」、「自然」をキーワードとして、現代の複合的、学際的な問題を考える科目や、情報・科学技術リテラシーをめざした科目等が、広い分野にわたり、豊富に（175科目）開講されていることです。さらに、より深く学びたいという学生は、自分の所属する課程や学科に拘らず、他課程や他学科、或いは他学部の専門科目（164科目）も自由に履修することができます。もう一つの大きな特徴は、これらの科目の中から、自分の専門（主専攻）と異なる分野の科目を系統的に履修した場合には、その分野を「副専攻」したものと認定する制度があることです。この制度は、皆さんの可能性をより高める高度な教養教育として、福井大学が全国に先駆けて始めたもので、今、他大学の大きな注目を浴びています。これまで、約20%の学生が副専攻を修得し、卒業しました。

共通教育では、その他に外国語や保健体育科目、そして情報処理科目を基礎科目として学びますが、もう一つ「大学教育入門セミナー」が1年生全員の必修科目として開設されていることも福井大学の特徴です。このセミナーは、受験を終えた皆さんが、高校とは大きく異なる大学の生活に早く慣れ、自分を考え、自分をみつめ、自立して学ぶことを支援するためのものです。キャンパスのほとんどの教員が参加して行われる少人数セ

ミナーは、学生からは勿論、学外からも高い評価を得ています。



全国に紹介するためのポスター



医学英語と医学・看護学の統合的一貫教育

取組代表責任者：医学部 教授 内木 宏延

現在の我が国の医学部英語教育は、教養英語の縮小と中途半端な医学英語の導入とに特徴づけられ、その有効性が疑問視されています。一方、近年の医学知識の膨大化、医療関係者の倫理観・コミュニケーション



能力の欠如等を受け、医学教育の再構築が全国規模で進行しています。この取組は、この変革の流れを受け医学部医学科において平成15年度より開始した、医学教育モデル・コア・カリキュラムに基づく新しい6年一貫の医学教育カリキュラムに、実用的医学英語教育を有機的に組み込んだものです。具体的には、学生の将来の仕事における英語ニーズに即した英語科目を1年次から4年次まで系統的に配するとともに、医学・看護学専門教育科目にも英語教材・教育を積極的かつ体系的に取り入れ、「医学英語教育推進会議」の下で英語教員と医学・看護学専門教員が有機的に協力しながら、医学英語と医学・看護学の統合的一貫教育を実現しようとするものです。

医学部における取組「医学英語と医学・看護学の統合的一貫教育」が文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）に採択されて二年目となります。平成17年度は、平成16年度に引き続き医学英語教材・資料の整備・充実を図るとともに、4月・5月に学生向けの医学英語に関する講演会を開催しました。また、本プログラム事業の中核施設となるECLNC（English Clinical Language Networking Centerの略、発音は「イー・クリニック」）が10月から運用を開始しました。

ECLNCは、(1)臨場感あふれる実践的医学英語教育の場所 (2) 生きた英語に触れる場と機会を与える環境 (3) リソースセンター：本、ソフト、DVDなどの閲覧 (4) 人間関係構築の場（患者 care clientsと医師・看護師care givers）の四つの基本理念のもとに新しい医学教育の提供を目指しています。松岡キャンパス講義棟1階に新設されたECLNCでは、病院内を模した教室に無線ネットワークで結ばれたノートパソコン21台と可動式の机9台を配し、聴診器や血圧計、顕微鏡等の医療用具や種々の視聴覚機材を備え、診察室から講義室まで様々な環境を自由に再現することができます。学生は、問診や血圧測定（診察室）、顕微標本観察（検査室）、人体模型を用いた実践的な医学英語学習ができるように設定されています。また、医学・看護学専門科目の講義内容をECLNCにおいて再び英語学習することにより、専門知識の効果的な習得も期待されます。さらに、ニューメディアの活用による多様な教授法実現の可能性を秘めています。このような演習室は、他大学の医学部には例を見ないものであり、医学英語教育の一つのモデルケースとなることが見込まれます。11月から外国人模擬患者を導入し、医療現場に近い授業が展開されています。ECLNCを活用した今後の取組にもどうぞご期待ください。



地域教育活動の場の 持続的形成プログラム

取組代表責任者：工学研究科 教授 野嶋 慎二

この取組は、教室から街にでて教育を行い、さらにまちづくりを実践していく、まちづくり実践教育の新しい取組です。

大学に隣接する「田原町」全体が教室（教育の場）になっています。空き店舗を使ってサロンを始めたり、科学実験室を作ったり、学生ベンチャーの店舗を開いたりすることができます。また雑木林や川では、環境学習の場として、地域住民や小・中・高校生と一緒に



一斉に打ち水して温度が2度下がった

環境デザインを行っていくことができます。商店街では、アート飾って街全体をギャラリーにしたり、交通問題を考えて交通量を減らしていく取組を行ったりすることもできます。

工学部8学科の教員と学生が多彩な研究成果やノウハウを活かして取り組む「学際実験・実習」をベースに、多角的に環境まちづくり教育を行い、これを実践していきます。



エココインで環境学習

これまで「エココイン」と「雑木林のツリーハウス」などを行ってきました。エココインは商店街で買い物するとき買い物袋を持参するとエココインがもらえるシステムです。店舗のポリ袋をもらわないことでゴミの減少及び資源の節約を行う環境学習の取組です。雑木林のツリーハウスは、大学に隣接する雑木林でツリーハウスをつくり子供たちの遊びと環境学習を行っていくものです。これらの取組は、地域で大きな反響を呼び、話題になりました。

これからも田原町でさらに楽しい取組を行い、新しい教育と地域貢献を行っていきたいと考えていますので、是非参加してください。



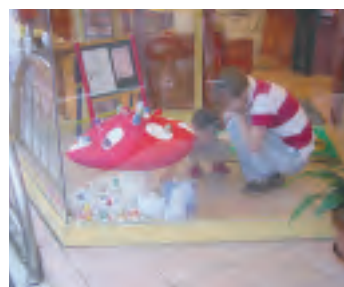
子供たちの冒険遊び場 雑木林のツリーハウス



にぎわうたわら屋 様々な世代の人が集ります

【学生の活動】

このGPでは、学生も次のような取組を展開しています。



田原町商店街アートギャラリー
商店街をアートで飾る企画

〈たわら屋の取組〉

大学に隣接する田原町商店街で平成16年6月に空き店舗を活用したコミュニティスペース「たわら屋」がオープンしました。このたわら屋は田原町商店街でまちづくりに取り組む学生の集まりのひとつで、【交流】

【自己表現・発表】【情報発信】の3つの機能を柱として掲げ、学生スタッフによる日々のたわら屋の運営（たわら屋に学生が交代で常駐）と定期的なイベントの開催（1年半で約50のイベントを開催）によって、商店街の活性化、豊かなコミュニティの形成を目指しています。

〈たわら屋スタッフからのメッセージ〉

たわら屋の活動は学校の授業とは基本的に関わりはありませんが、学校の授業とは違って自分たちで企画・運営を行うことでたわら屋を動かし、そして商店街・まちに働きかけるという、実際に社会に出た活動をするこ



陽だまりコンサート 音楽科の学生と協働企画

ができます。活動をするということはすごく大変ではありますが、企画・運営をすることで自分のスキルアップに繋がりますし、学校の近くにすごく愛着の持てる「場所」ができます。商店街の方達と親しくなることで、より大学生活が楽しくなります。なにより様々な経験を積むことができるでしょう。

あなたも自分の趣味・特技をまちに活かしてみませんか。



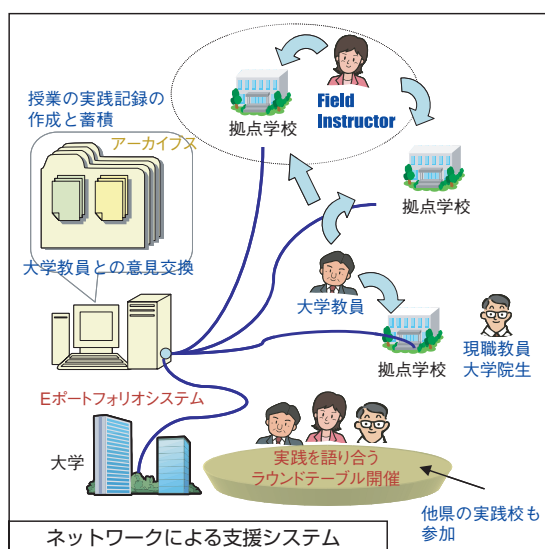
学校を拠点に教員の協働実践力を培う大学院

ー21世紀型学力を実現する教員の

実践力・組織力形成のためにー

取組代表責任者：教育地域科学部 教授 寺岡 英男

21世紀の学校教育を担う教員の実践力をどう形成するか。この取組は学校拠点の協働実践を核とするモデルを提起します。特質は次の3つです。①学校拠点の教員と研究者との協働の授業開発 ②実践－分析－再構成のサイクルによる実践と研究の融合と持続的発展 ③学校を越えた実践交流ネットワークの組織化。学校拠点の授業開発の積み重ねを通して教員の実践力形成を目指す大学院と学校の協働による実践的教員養成プロジェクトです。



課題探求力、コミュニケーション力、協働学習をマネジメントする力。21世紀の社会で求められるのはこうした力ですが、それが世界的な流れであることは、OECD・PISAの調査などが明確に示しています。それは従来型の、個人的で知識を覚える学習では身に付きません。そして新しい学習は新しい役割・力量をもった教員を必要とします。

そのために私たちは大学院レベルでいくつかの学校と共同研究を行い、その学校での学習やカリキュラム、そして教師の協働研究の組織化という実践的な研究を進めています。GPで評価されたこの取り組みは、新しい専門性・実践的な力量を持った教員を養成



学校拠点の授業風景

する専門職大学院（教職大学院）の設置構想での新たな枠組みと内容の提案と基本的に重なるものです。

GPの取り組みと教職大学院づくりを結びつけながら、学校での新たなリテラシーの形成とそのための教師教育のあり方と方途を具体的に示し、教師教育改革の課題に応えて行きたいと思っています。



『救急に強い僻地診療専門医及び専門看護師』養成コース

取組代表責任者：総合診療部 教授 寺澤 秀一

平成17年度地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラムに、附属病院の「救急に強い僻地診療専門医及び専門看護師養成コース（以下、「病院GPコース」）」が選定されました。この「病院GPコース」は、僻地における医療人の量的、質的不足を改善するための取り組みで、以下の5点が特徴です。

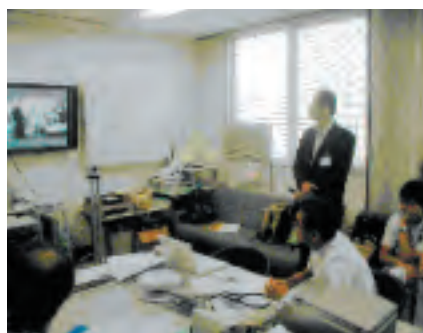
①僻地診療専門医だけでなく、僻地診療専門看護師の養成コースも含んでいます。医師だけでなく、僻地診療所で働く看護師についても正式な養成コースを立ち上げたいと思っています。看護師の方々の応募もお待ちしております。

②附属病院独自の総合診療部と救急部の合体運営を活用して、救急総合診療の研修から開始し、年単位で僻地医療拠点病院等における総合内科研修、僻地診療所における僻地診療研修を含むコースを設定しています。これまで、僻地診療所で働く医師、看護師は総合内科的な育成が主でした。本「病院GPコース」は成人のみならず、小児や外傷患者の診療、災害時の対応の能力ももった人材育成を狙っている点が最大の特徴で、この点が平成17年度地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラムに選定された理由と言えるでしょう。

③僻地診療所での研修といえば、これまでは一人で突然、赴任して、「遠い、寂しい、誰も教えてくれない」という暗いイメージのものでした。本「病院GPコース」では必ず、先輩医師が既に働いている僻地診療所に2人目の医師として研修に行くことを特徴としています。

④僻地診療教育支援センターを立ち上げ、ITを利用した教育支援、及び教育人材の派遣を盛り込んでいます。既に本院の総合診療部の紅谷医師が所長を務める高浜和田診療所と本院の救急部、総合診療部とはテレビ会議システムで結ばれ、現在毎週木曜日に共同で勉強会を始めています。このITによる僻地診療所での診療、教育支援をさらに充実させ、複数の僻地診療所と同様のことを開始する準備を進めています。

⑤国際的な視野をもった医療人養成のために海外の家庭医学の教員を招聘して教育を行います。先進的な家庭医療の専門医の養成コースがある米国やカナダから毎年数名の教員を招き、指導の仕方、養成コースの充実化を図ることが決まっています。既に、本年3月、6月と外国人教員が本院を訪問することが内定しています。



テレビ会議システム

教育・研究の成果

福井大学発ベンチャー

福井大学から、大学の研究成果を技術シーズとして事業化・創業を行う大学発ベンチャー企業が平成17年度に2つ誕生しました。

特殊な加工技術

教授 堀 照夫

(大学院工学研究科ファイバーアメニティ工学専攻)

私達の研究室では、環境や省エネルギーに配慮し、また従来の衣料用から産業用用途を目的とした革新的繊維材料の調製を目指した研究を主体に行っています。物質は固体、液体、気体の他に第4番目の状態として『超臨界流体』と言う状態になります。この状態は液体と気体の両者の中間的な性質を示し、色々な物質を溶解したり、高分子を膨潤させる性質があります。我々は『超臨界二酸化炭素』を利用すると繊維やプラスチックが従来法ではできなかった加工が可能となることを見出しました。この方法を利用すると、従来染色できなかった繊維が染色できる、抗菌加工や防燃加工、金属めっきなどが容易にできる、廃液がない、などの特徴を有することが解りました。この技術を普及するため、有限会社シーオーツ（CO₂で二酸化炭素の意味）を設立しました。

何ができるか？

■ 加工方法の特徴

(1) 高結晶性物質・成型品の加工が簡単



(2) 染色、メッキ、洗浄、発泡 — 何でもOK



■ 応用分野とユーザ

- (1) 自動車内装材→自動車産業
- (2) 防護服→繊維関連会社
- (3) 電磁波シールド材・送電線・プリント基板→JR、自動車産業
- (4) 電子部品の洗浄→電子部品会社



会社概要

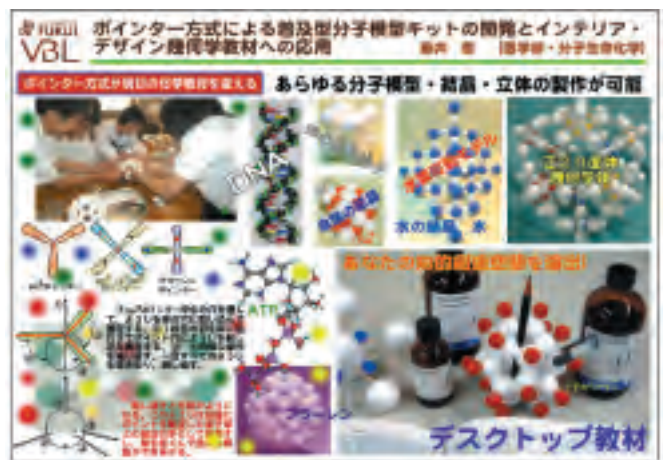
- 有限会社 シーオーツテクノ
- 液体と気体との中間状態の超臨界二酸化炭素を使った特殊な加工技術を供与。

分子模型教材

助教授 藤井 豊

(医学部分子生命化学領域)

大学化学教育の改革を行う目的で、ポインター方式分子模型システム（特許第3757283号）を開発しました。学生が分子模型を製作しながら、物質の構造物性の深い理解につながるFDです。この成果は、地域教育機関と連携したSPP、SSHおよび公開講座として県内の初等中等教育に応用しています。日本の優れた科学技術開発を担う次世代の育成に向け、ポインター方式分子模型システムを普及するため、平成17年12月12日に大学発ベンチャー・福井ウルテック社を設立しました。



会社概要

- 有限会社 福井ウルテック
- 安価な発泡スチロールとつまようじ、独自に開発したポインターを使用した分子模型教材を製造・販売。

ちょっと一息 福井情報

世界に誇る福井の豊かな自然



希少野生動植物保護法指定 アベサンショウウオ（環境省絶滅危惧IA類（CR））

21世紀COE 世界最高水準の研究教育拠点形成への取組

21世紀COE（センター・オブ・エクセレンス）プログラムは、大学に世界最高水準の研究教育拠点を形成し、研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材育成を図るため、重点的な支援により、国際競争力のある個性輝く大学づくりを推進することを目的としています。ここでは本学のCOEを紹介します。

生体画像医学の 21世紀COE 統合研究プログラム

拠点リーダー：高エネルギー医学研究センター
教授 藤林 康久

【計画の概要】

本プログラムでは、基礎・臨床医学分野で蓄積された解剖、生理、生化、薬理学情報収集技術とポジトロンCTやMRIなど高度な放射線画像診断技術とを融合させ、遺伝子発現としての生命現象あるいは遺伝子発現異常としての疾患を非侵襲的に画像化する分子イメージングの国際的研究教育拠点を形成します。これにより、がん・痴呆等に関する分子生物学等の基盤情報を包括した先端画像医学を確立し保健・医療の推進に貢献するとともに、画像技術を用いる新しいシステム医科学を創成します。

この学際的研究を推進するため、柔軟な発想を持つ若手研究者・大学院学生の萌芽的研究支援・指導体制の確立、迅速な研究実施に不可欠となる高度化設備の活用・強化ならびにそれらに習熟した研究支援者育成等、大学を挙げた新しい研究システムを構築します。

【現状】

本21世紀COEプログラムの研究対象は、遺伝子から培養細胞、マウス、ラットを経てヒトまでにいたる幅広いものであり、開始後4年目を迎えて基礎・臨床医学のみならず工学連携も含めた総合的な研究体制が構築され、多岐にわたる専門分野の研究者・学生が交流するようになりました。その中でこれまで知られていなかった生体機能や病気の原因のいくつかが明らかにされ、種々の病気を診断する新しい薬の提案などの成果が生ま

れてきています。また、本拠点形成の活動が広く認知されたこともあり、2006年春には日本分子イメージング学会が設立されることが決まりました。現在、福井大学に事務局を設置して精力的に準備を進めています。

【期待される研究・教育の効果】

1. 分子生物学などの基盤情報を包括した非侵襲的画像診断学が確立され、がん、痴呆などの質的診断を基礎として治療計画の立案、治療効果の評価等に直接関わる研究が促進されます。
2. 生命現象としての遺伝子・タンパク発現と形態的・生理的現象との関連付けを行う画像技術が開発され、これを基盤とする基礎・臨床医学を融合する研究分野が創生されます。
3. 医学への貢献や生命現象の解明を最終目的とする工学連携研究者の輩出ならびに研究環境の整備が行われます。
4. これらにより、国際的に発展が望まれている分子イメージング研究拠点ならびに同分野研究者の養成が行われます。
5. 放射線である高エネルギー電磁波の生命科学、医学への積極的利用を促進することにより、福井県民を始めとする国民全体に対して放射線に対する正確な知識の提供と必要性の理解が促進されます。



小動物用ポジトロンCT（PET）装置
マウス、ラット等を用いたPETイメージング研究の強力なツール

□ちょっと一息 福井&大学情報



福井県は、篤志家の寄付を受けて、平成17年度に県版ミニノーベル賞「科学学術大賞」を創設しました。物理学、化学、生物学、医学・生理学、経済学の5分

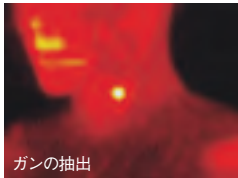
野で科学技術の開発や学術研究で福井県の発展に寄与した研究者等を表彰するものです。

平成17年度第1回の大賞に、前21世紀COE拠点リーダーで元本学教授米倉義晴氏（現：独立行政法人放射線医学総合研究所理事長）が、「陽電子断層撮影（PET）による悪性腫瘍の機能画像診断法の開発研究、診療への導入」に対する功績が評価され、初の受賞者となりました。

21世紀COE「生体画像医学の統合研究プログラム」は、松岡キャンパスの高エネルギー医学研究センターを中心に取り組みが進められています。

高エネルギー医学研究センターは次のような教育研究施設です。

高エネルギー医学研究センター



放射線医学の研究センターとして設立され、医療画像の研究・開発を行っています。特にからだのはたらき（臓器機能）を画像化し、様々な病気の診断や治療効果判定を客観的に行うことを目的としています。

ポジトロン断層画像 (PET) による機能イメージング

最近、ガン細胞がブドウ糖をたくさん取り込む性質を利用して、ガンのチェックや全身への広がり診断するためにPETが利用されるようになってきました。PETは、臓器の血流や代謝、さらには情報伝達機能など、からだのユニークな機能情報を測定、画像化できる特徴を持っています。ブドウ糖やアミノ酸の代謝を調べることで、からだの活動が正常か、病的状態かを診断することができます。腫瘍、心疾患、脳神経疾患など、さまざまな疾患で血流や代謝が変化するため、PET測定による病態把握が診断に役立ちます。



PET操作室



全身用PET装置：
臨床検査や臨床研究で、ヒトのイメージングに用います。



動物用PET装置：
疾患モデル動物の実験や新しいPET用トレーサの実験に用います。

脳のはたらきを画像化する

からだの機能を画像化する方法として、最近MRI（磁気共鳴画像）が注目されています。MRIはもともと、からだの内部構造を画像化する装置でしたが、新しい撮像法により血流や代謝を反映した情報も得られるようになってきました。特に脳機能を反映する脳血流の変化は、ファンクショナルMRI (fMRI) として、研究や脳神経疾患の病態解明に用いられています。



脳機能の画像化：
ある刺激に対する血流増加部位

分子でみる細胞の機能イメージング～臨床応用へ

放射性同位元素 (RI) を薬剤や生体物質に組み込む（標識する）と、それらの物質の体内や細胞内での挙動を追跡することができます。PETに用いられるポジトロン核種はRIの一つです。当センターでは臨床用の小型サイクロトロンを2台稼働させ、臨床検査のみでなく、分子レベルでの基礎実験や解析、画像化へ向けての動物実験などに



小型サイクロトロン



細胞・組織レベルでの実験

用いるさまざまな薬剤を合成しています。からだの生理機能を測定するための新しい薬剤の開発や合成方法の改良なども行っています。



放射性薬剤自動合成装置

Faculty of Education and Regional Studies

教育地域科学部

教育地域科学部ってどんな学部なの？



「教育」という名の通り、教員を養成する学校教育課程があります。そして、「地域」という名のついた二つの課程があります。教員の免許は取れないが、

地域の文化や地域の人々の心身の健康などをサポートする専門家、地域と国際社会の架け橋となる専門家などを育てる地域文化課程、それに、公務員などの地域を支える専門家となることを目指す地域社会課程からなります。これらの三つの課程は、どれも地域に生起するさまざまな課題に取り組み、それらを解決し、よりよい地域社会をつくるための専門家になることを目指します、そのために、教育科学や地域科学についての知見を学ぶとともにそれらにもとづく実践を行います。

21世紀になり、急速なグローバル化が進んでいます。一方、国内では地方分権が進められています。そのような流れの中であって、これからは、地域が固有の力を持たなければならない時代です。現代社会では、教育、文化、政治、経済、環境などの要素が複雑に絡み合い、より高度で専門的な判断を必要とする課題に直面せざるを得ません。それらの課題の解決には、高度の知識と見識と行動力が必要です。教育地域科学部は、そのような教育と研究を行い、地域に貢献するために頑張っています。03年度には、実践的な力量形成の教育が認

められ、全国の大学の優れた教育を選定する「特色ある大学教育支援プログラム」に選ばれ、引き続いて05年には「学校を拠点に教員の協働実践力を培う大学院」が優れた教員養成推進プログラムとして選ばれ、教育地域科学部の教育は全国でもきわめて高い評価を得ています。

また05年からは小松から直接いける上海師範大学との教育・研究交流がスタートしました。

ところで、皆さんは就職のことが気がかりだと思います。少子化が進行しているとはいえ、教員はもとより働いている人々の年齢構成は団塊の世代といわれる40代の後半から50代に偏っています。数年先を見すえて若い力が求められています。新聞等でも発表されているように、全国的には、すでに教員不足がかなり心配される地域も生まれています。教育地域科学部としても、企業をはじめとした多方面の就職には非常に力を入れて取り組んでいます。小さいが元気のある学部です。

地域のために頑張ってみようという意欲ある若者よ、是非、教育地域科学部へ！



Profile

教育地域科学部長

黒木 哲徳

Tetsunori Kurogi

宮崎県出身。九州大学理学部数学科卒業。大学院修了後、九州大学、名古屋大学の理学部勤務を経て、現在は福井大学教授。2001年～2003年副学長。位相幾何学の専門家、理学博士。現在は日本総合学習学会副会長、日本数学協会幹事などを務め、アルゼンチンでの数学教育改革の現地指導や「その道の達人」として全国の小・中学校や高校で授業を行うなど、国内外の算数、数学の教育と研究に携わる。

教育地域科学部

学校教育課程

言語教育コース
理数教育コース
芸術・保健体育教育コース
生活科学教育コース
社会系教育コース
教育実践科学コース
臨床教育科学コース
障害児教育コース

地域文化課程

生涯学習コース
異文化交流コース

地域社会課程

行政社会コース
地域環境コース

【大学院】

教育学研究科 修士課程

【専攻科】

特殊教育特別専攻科

学校教育専攻

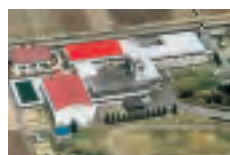
障害児教育専攻

教科教育専攻

知的障害教育専攻



教育地域科学部附属
小学校・中学校・幼稚園



教育地域科学部附属
養護学校



教育実践総合センター



総合自然教育センター

学校教育課程

社会の状況が大きく変化し、その中でさまざまな問題が発生している今日、学校教育の在り方が問い直されています。21世紀を担う子どもたちに本当に応えることのできる学びのあり方をとらえ直し、豊かな個性や創造性を育んでいく学校づくり・授業づくり、そしてそれらを担う教師の資質が求められています。



課程共通科目「地域と学校」

学校教育課程では、小学校・中学校の教員を区別なく包括的に養成します。また教科を括った「言語教育」「理数教育」「芸術・保健体育教育」「生活科学教育」「社会系教育」の5コース、さらには子どもたちの発達と教育に直接関わる「教育実践科学」「臨床教育科学」「障害児教育」の3コースを設けています。



どんなもようができるかな?!(附属幼稚園にて教育実習)

学生は、1つのコースに属し、そこでの専門を深めながら、小中学校9年間を見通したカリキュラム編成の能力、学びの総合化への視点を培いま



もうすぐ給食(附属小学校)

す。さらに「いじめ」、「不登校」や「科学技術離れ」などの今日的な課題の社会的背景やそれらへの対応の在り方など



明日は公開授業(教育実習生控室)

の理解を通じて、教師として必要な深く広い資質の形成をめざします。

■学校教育課程で取得可能な教員免許状の一覧

コース名	小学校1種/2種	中学校1種/2種	高等学校1種	養護学校1種	幼稚園1種
言語教育	◎	国語	国語、書道	○	○
		英語	英語		
理数教育	◎	数学	数学	○	○
		理科	理科		
芸術・保健体育教育	◎	音楽	音楽	○	○
		美術	美術、工芸		
生活科学教育	◎	保健体育、保健	保健体育、保健	○	○
		技術	工業		
社会系教育	◎	社会	家庭	○	○
			地理歴史 公民		
教育実践科学	◎	※	※	○	○
臨床教育科学	◎	※	※	○	○
障害児教育	◎	※	※	◎	○

◎：卒業に必要な単位を履修することで修得。 ○：必要な単位を履修することで修得。
※：希望する免許の教科を選択することにより修得。

なるほど!! 教育地域科学部 part 1



Profile

教育地域科学部
理数教育講座

助教授 櫻本 篤司

Atsushi Sakuramoto

岐阜県生まれ
京都大学理学部卒業
京都大学大学院理学研究
科博士後期課程単位取得
退学
博士(理学)
専門は関数解析学(作用
素環論)

「数学の楽しさ・美しさ」

数学は、野球やサッカーなどのスポーツと同様に、ルールさえ守れば自由な発想でいろいろなことができます。また、数学の定理は、いつの時代でもどの世界でも(地球上に限らず宇宙でも)正しく、さらに、美しいものがたくさんあります。私は、数学の楽しさ・美しさを子供たちに教えられる教

員の養成を目指しています。

数学教育サブコースでは、専門的な数学から、暗号や魔方陣などのパズル的な数学、さらに新しい教材の開発などの多種多様な研究を卒業研究として行っています。みなさんも私たちと一緒に数学を楽しみませんか?



地域文化課程



地域文化課程とは、私たちの住む地域の暮らしの課題に新たな視点から取り組もうとする課程です。生涯学習コースと異文化交流コースのふたつからなります。

ます。

生涯学習コースは、地域の学習、文化、健康、スポーツにかかわる活動を支援・企画・運営することのできる専門家の養成を目標としています。

カリキュラムでは、経験や活動を通して学ぶ実践的教育を重視しており、県内にある生涯学習や健康・体育関係の施設・機関で実地の研修活動もおこないます。社会教育主事や博物館学芸員の資格も取得可能です。

異文化交流コースは、地域と国際社会とを橋渡しする専門的指導者の養成を目標としています。私たちの住む地域においても、異文化との交流を通じて外国の諸地域との友好関係を築き、多文化共生社会を実現する必要がありますが高まってきています。カリキュラムにおいては、実用的なコミュニケーション能力と専門的な異文化理解能力の養成を重視しています。

主な就職先 生涯学習コースからは、地域の文化施設や病院・保健施設、情報、サービス関連の一般企業など。異文化交流コースからは企業の対外交渉部門、旅行代理店や通訳・翻訳業務など、公的機関の国際交流担当部門など。

坂口 朗 Sayaka Sakaguchi (異文化交流コース 3年)



異文化交流コースでは、外国語の能力はもちろん、異文化理解能力や異文化間における実用的なコミュニケーション能力を習得することを目的として授業が行われています。

専門的な分野での授業としては、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、日本語の能力を習得したり、そ

れらの言語における文化、歴史、文学などを学べる授業が行われています。

私がこの異文化交流コースで学びたいと思った理由のひとつとしては、福井大学とアメリカ・ニュージャージー州にあるラトガース大

学との学術交流協定が挙げられます。この歴史ある大学に留学するため、入学後は先生方のご協力を得て一生懸命勉強し、2006年9月から1年間の学部留学を決めることができました。

私にとってこの異文化交流コースとは、自分の夢や目標を実現するための学力や精神力を身に付けられ、またそういった夢や目標を支え、応援して下さる先生方のいる、かけがえのない場所です。

地域社会課程

地域社会課程とはどんなことを学ぶところなの？

地域社会課程は、地方分権を担い、環境と調和した地域形成を課題とした課程で、2つのコースからできています。1つは行政社会コースで、1つは地域環境コースです。

行政社会コースでは、地域の行政・産業・住民生活などに関わる社会科学系の諸分野を総合的に教育・研究することにより、自治体の政策立案、合理的な経済運営、住民の



生活問題などについて専門的な知識と技量を備えた人を育てています。

地域環境コースでは、フィールドワーク、実験・実習、情報処理を重視しながら、地理や住生活、地質や生物に関する諸分野を総合的に教育・研究することにより、地域の自然、社会、人間の相互作用を的確に分析し、適切な生活環境を維持あるいは創成することに貢献できる人を育てています。

卒業者はどんなところに就職しているの？

行政社会コースでは県庁や市役所などの地方公務員、銀行や信用金庫などの金融関係、あるいは情報関係やサービス業、製造業など民間企業の事務職、営業職等です。

地域環境コースは、情報関係や環境アセスメント関連、住宅関連など民間企業の技術職あるいは事務職、営業職等です。



なるとほど!! 教育地域科学部 part2



Profile

教育地域科学部
社会系教育講座

助教授 門井 直哉
Naoya Kadoi

千葉県生まれ
京都大学文学部卒業、京
都大学大学院文学研究科
博士後期課程修了
博士(文学)
専門は地理学(歴史地理
学)

「地表に刻まれた歴史を読み解く」

人間の活動の痕跡は文献史料のみならず、地表にも景観や地名、行政界などの形で刻み込まれています。私が専門としている歴史地理学は、景観や地図を主たる手がかりとして、この地上に暮らした先人達の思いを解き明かす学問といえます。—なぜそこに道が通されたのか？国や郡の範囲はどうやって画定されたのか？都市や集落の形にはどのよう

な意味があるのか？等々—地表

に歴史の痕跡を見出し、それを生み出した先人の意図を知ること、私たちは過去と現在との繋がりを改めて実感することになるでしょう。このことは、将来の政策決定や地域開発にも関わることではないかと考えています。



教育地域科学部長と
学生に答えて
もらいました!!

教育地域科学部に入ったら…

Q & A

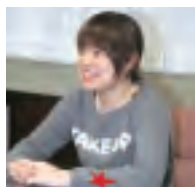


Q：高校との違いは？

A：自分で取りたい授業を選べるところです。
：高校のクラスみたいな集まりがなくてちょっと寂しいかな。
：大学では、自分で時間割を作ります。入学してすぐはすごく戸惑ってしまうので、先輩に聞くといいです。

Q：授業の内容は？

A：難しい！教科書の中身以上に考えないといけない。
：授業だけ聞いていてもついていけない。与えられたものをしていただけではついていけない。



Q：大学ではどういう風に勉強すればいい？

A：教科書のない授業もあるので、そんなときは図書館で借りてきます。
：教育地域科学部には100人くらいの先生がいるので、先生方はいかに上手に利用するかが鍵です。たくさんの専門家の話を聞いて勉強してほしいですね。“たたけよさらば開かれん”です。

Q：教育地域科学部の取組のひとつ、探求ネットやライフパートナーにはまるわけは？

A：子どもと関わっていくことですね。子どもが成長していくのがわかって、すごくうれしいです。



A：福井街角調査隊は、福井のまちを子供たちと一緒に探検します。

A：気球を飛ばすグループもあります。人を乗せては飛ばせませんが、暖かい空気は上に行くというのを教えて、小さい気球を作りそれをどんどん大きくしていきます。失敗や成功を繰り返していくのがいいですね。

A：このような活動を作り上げていくのがおもしろいですね。

A：人形劇グループでは、台本も人形も全部手作りなんです。最後の発表を見ると子どもの成長を見られるのがいいですね。

A：ライフパートナーはすごくためになった。このような機会を大学が作ってくれないと絶対に無理だね。

Q：大学生になっているいろんなことを吸収してほしいけれど、福井大学の教育地域科学部で学んでよかったことは？

A：本当にアットホームなのもいいし、自分のしたいことをいろいろ学んでいるような方向に視



野を向けられるのがいいですね。

A：学びやすい。先生もいい人がたくさんいらっしゃると思いますよ。
：教授って遠いってイメージがあったんですけど…。
：わかりやすい授業をしてくれる人が多い。



専門的な力も高めよう！

Q：福井大学は、すぐれた実践的教育をやっていると高く評価されているのですが、一方で、いま学力問題があるから、その指導力向上のためには、専門の力も上げないといけません。専門の勉強をする時間は少ない？

A：学年によって違います。たとえば、数学だと、1年は微積しかなかったのに2年になってたくさんの数学を学んで戸惑いました。

：高校はパターン化していたから1つの定理を使えばできたけど、今は応用がきかない。

：教員養成課程の方は結構忙しい。でも3年の前期くらいまでは、自分の専門の科目はなるべく聴いた方がいいと思う。数学の場合は3年の後期のゼミで、1つか2つに絞るわけで、どこの研究室で卒論研究をやるかは、4年の直前ですね。

：学問に触れて、あきらめずに勉強し続けることの重要性、それが



熱くなれる基本だと思います。教育は技術でなく、心でするものなんです。先生に対して熱いと思うのは、心をつつ何かを感じるから。それが教育の原点です。頭ではなく、心や身体で感じられる教師になって欲しいですが、そのためには、学問の魅力が感じられるまで追求してみることも大切ですね。

大学院を目指そう！

Q：大学院って何？

A：多くの人が大学に行く時代になり、また、世の中の変化が激しく、教育も変化せざるを得なくなっています。その変化をつかんで教え



方を組み替えていかないと対応できません。先生になる人の能力が問われる時代になり、4年間では足りなくなってきました。大学院は、継続教育やリカレント教育だと考えてください。

なるほど!! 教育地域科学部 part 3



Profile

教育地域科学部
異文化交流講座

講師 今井 祐子
Yuko Imai

神戸大学大学院総合人間科学研究科博士後期課程修了
2004年より現職
研究分野は、近代美術史、ジャポニスム、日仏文化交流史など
福井大学ではフランス語、フランス文化、異文化交流論などの授業を担当

「文化交流は人に始まり人に終わる」

ジャポニスム（19世紀後半の欧米にみられた日本趣味）に関心を持つ私は、明治期の日仏関係を中心に、美術を巡る人と物の交流について研究しています。研究を通して学んだことは、文化と文化の交流は、文化の間にあるというよりはむしろ、人と人との間に起こるものだという点でしょう。世界各地から人・物・情報がどんどん

入るようになった現代は、多様な人々が国際文化交流の主体となりえる時代です。文化や友好のかけ橋になろうとする若い人たちの活躍に期待しています。



Faculty of Medical Sciences

医学部

医学部は皆さんの入学を心待ちにしています。



医学は人類の歴史と共に歩んできた歴史ある科学の一つです。結核や天然痘に代表される伝染病の永年に亘る克服の歴史は皆さんもよくご存知

でしょう。人間は誰でも健康を維持し、不幸にも病を得たらそれを直そうと望みます。その希望をかなえるために、世界中の大学で古くから医学部が設立されました。歴史の古さで世界的に有名なのが米国ハーバード大学で、研究と医療の実績で世界をリードして来ており、日本からの留学も盛んです。

福井県に医学を本格的に追究する大学ができたのは1978年です。医学部のみの単科大学だったので「福井医科大学」と呼ばれました。この実現には福井県民の熱い要望がありました。もともと福井県には杉田玄白に代表される優秀な医学者が生まれており、しかも現在では日本でも指折りの長寿県として知られ、県民の健康に対する意識は高いと言えます。福井医科大学は設立後、先進的な医学・医療を追究の場として、「医科大」の愛称で親しまれて来ましたが、平成15年10月に旧福井大学と統合し「福井大学 医学部」に生まれ変わりました。

医学部の主な使命は最新の医学研究・医療を実践し、そしてそれらに将来携わる人材を育て社会に送り出すことに在ります。学部教育として、6年制の医学科と4年制の看護学科があり、それぞれ一貫したカリキュラムで教育がなされています。さらに深く医学を研究する人の

ために大学院が備わっており、博士課程または修士課程に進学出来ます。

医学部教育を簡単に紹介しますと、医学科では入学直後から始まる、医学準備教育、ついで基礎医学、臨床医学の3領域を密接に関連させながらより効果的に学習出来るよう配慮しています。看護学科では、将来、自分の希望する領域での活動に必要なとされる免許が取得出来るような教育課程も用意されています。最近の医学教育では講義の他に実習が重視されます。実習を通じて生命、社会、患者様に具体的に接することにより、技術のみならず豊かな人間性と生命を尊ぶ優しい心を学ぶことが期待されています。

最後に、福井大学医学部は医学・看護学、医療の更なる進歩と社会への貢献を目指し日夜努力し前進しています。そして福井県内の医療機関で働く本大学出身者の数は次第に増加しています。しかし依然として若い人材の参加が求められており、意欲とファイトに溢れる皆さんのような方々の入学を心からお待ちします。



Profile

医学部長
伊藤 春海
Harumi Itoh

広島県出身。1968年京都大学医学部卒業。放射線医学専攻。1976年米国ジョンズ・ホプキンス大学留学。京都大学医学部助教授を経て、1999年福井医科大学放射線医学講座教授就任。2002年同大学医学部長、2003年福井大学医学部長となり、現在に至る。呼吸器疾患の画像診断学分野で、放射線画像と解剖病理学の境界領域を開拓し、新たな診断学を創出した功績で1984年北米放射線学会よりクムラウデ賞を受賞。学生と若手医師の画像診断学教育に力を入れている。

医学部

医学科
看護学科

附属病院

診療科
中央診療施設
特殊診療施設
薬剤部
看護部
治験管理センター
卒後臨床研修センター
医療環境制御センター
診療情報管理部
地域医療連携部
栄養部

【大学院】

医学系研究科

修士課程

博士課程

看護学専攻

形態系専攻

生理系専攻

生化系専攻

生態系専攻



医学部



医学部附属病院
(病床数600床・診療科25科)

医学部のカリキュラム

医学科

1年		2年		3年		4年		5年		6年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総合教育科目 基礎教育科目 〔リベラルアーツや 語学教育など〕		医学外国語									
		基礎医科学 (B) 〔人体解剖学・原因と病態・免疫と 生体防御など生命科学の基本的 知識や疾病の原因と機序〕		基礎臨床医学 I (C) 〔神経系・呼吸器系・消化 器系・腎臓内科など人体 器官の正常構造と機能 や病態・診断・治療など〕		基礎臨床 医学Ⅱ (D) 〔感染症やア レルギーな ど生理的変 化と疾患〕		臨床実習 (G) クリニカルクラークシップ 〔内科系・外科系を中心と した診療参加型実習〕		実践臨床病態学 卒前臨床医学研修 〔学外病院、本学診療科及び基 礎医学講座研修など選択〕	
						診療の 基本 (E) 〔頭痛・発熱 など症状か らの診断と 基本的診療 知識・技能〕					
医学基本事項 (A) 〔医の倫理・患者の権利 チーム医療やテュートリ アル教育〕		研究室 配 属		アドバンストコース 〔専門的・先端的で広範囲な内容の選択科目〕		医学基本 事項 (A)		共用試験		卒業試験	
医学準備教育 〔基礎科学の概念・知識・技 能と医学入門などの導入 教育〕						医学・医療と 社会 (F) 〔社会・環境と健康・疫学 と予防医学など健康や 保健・福祉・介護等〕					
										医学・医療と 社会 (F)	

看護学科

1年		2年		3年		4年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目 〔人間理解・情報処理・語学・体育など多様な視点からの人間理解〕				専門科目 〔基礎看護・健康時の看護・健康障害時の看護など看護学の概念・基礎理論・方法論・健康の保持増進等〕		専門科目 集中講義 〔学校保健論 助産学概論等〕	
専門基礎科目 〔生命基礎科学・健康科学・環境科学の各領域〕						臨地実習	
						〔成人看護学 老人看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 地域看護学〕	
専門科目				臨地実習		卒業研究	
実習 〔基礎看護Ⅰ〕						〔助産学〕	
						臨地実習 〔助産学〕	

●カリキュラムの特徴●

(医学科)

- ・モデルコアカリキュラムに準拠した精選された学習内容となっています。
- ・テュートリアル教育を1～4年次で行っています。
- ・専門的、先端的で広範囲な内容を学修できるアドバンストコースを選択科目で設定しています。
- ・従来の単なる見学型でなく、診療チーム参加型実習を導入しています。
- ・学習内容を確実に習得するため学年制をとっています。

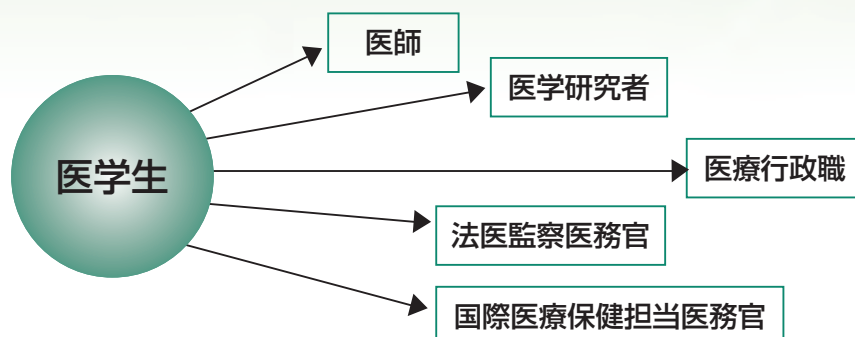
(看護学科)

- ・将来の職業選択（看護師・保健師・助産師）の幅が広がるように多くの選択科目を設定しています。
- ・基礎科目から専門科目へ、講義から実習へと順次学習できるようにしています。
- ・4年次に自分の研究課題について探求する「卒業研究」を設けています。
- ・附属病院や福井市内の病院、さらに訪問看護ステーション、高齢者福祉施設などで充実した臨地実習を行っています。
- ・福井県で助産師を養成しているのは本学だけです。

医学科

定員：推薦20名、前期55名、後期20名、編入（2年後期）5名

医学科を卒業するとどのような職があるのだろうか。



1. 医師。医師免許を取得して医師になるのが基本中の基本。医師免許を取っても、お医者さんにはならず、2. 医学研究者（大学や研究所の教育研究者、製薬会社の研究所の研究員。ただし、臨床医学系の教育研究者は実際の臨床にも携わる）、3. 医療行政職（厚生医系技官、事務官）、4. 法医・監察医務官、5. 国際的に医療保健を担当する医務官など、多くの職種が医師免許取得者を待ち受けています。

医学科の教育課程

総合教育科目

いわゆる教養教育科目、外国語と一部補習授業。物理学と生物学に関しては、未履修者に補習授業を準備。医系、理数系、文学社会学系、体育、外国語など医師に必要な一般教養科目を学びます。

基礎医学・臨床医学系総合科目

医学全般にわたる知識と理解を目指します。各科目に講義と演習、実習があります。衛生学、公衆衛生学、法医学と言った社会医学系科目も学びます。医学の共通基本事項をコアカリ(core curriculum)と呼ばれる基礎臨床合わせた科目で総合的に学びます。

臨床実習

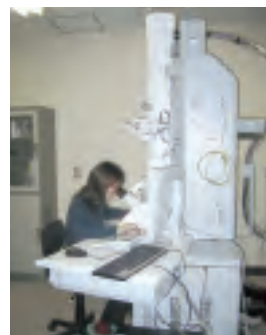
附属病院、関連病院、医院において臨床実習の体験学習を5、6年に行います。この臨床実習に進むには2種類の試験に合格しなければなりません（下記のなるほどを参照して下さい）。



小グループ実習



人体解剖実習の直前の風景



研究室配属：電子顕微鏡室での研究

医師国家試験と卒後実地研修

6年間の課程を終えた人が医師国家試験を受験することができます。卒業予定者は卒業式よりも前に実施される全国一斉の医師国家試験を受験（本学卒業者のほとんどは、金沢市で行われる試験を受験します）し、合格発表は、3月末に行われます。臨床医になるには2年間にわたる卒後研修（各科を選んで廻る）を指定病院で行うことになります。

なるほど!!

“医学部生のうちに国家試験受験？”

これまでは卒業後の医師国家試験だけでしたが、平成18年度から、4年生終了時に全国の医学部4年生は全員、医学的知識を測る共用試験（1.コンピューター対面試験: CBT Computer-based Testingと、2.模擬患者さん相手の臨床実技試験: OSCE Objective Structured Clinical Examination）を受験しないといけなくなります。患者さんと接する臨床実習前に必要な知識や技術を習得しているかどうかをみるためのものです。これに合格しないと、臨床実習に進めません。つまり医学部5年生に進級できないことになります、いわば第二国家試験ともいうべきものです。今まで臨床実習は見学が主体でしたが、第二国家試験を通った医学生は見学ではなく、医師指導のもとにある範囲内でより実践的な実習を経験することになります。そのため卒業後、直ちに技量の備わった信頼できる医師が誕生することになります。

看護学科

定員：推薦15名、前期30名、後期15名、編入（3年次）10名

平成9年に医学部に設置された看護学科では、将来の職業選択に生かせるよう、選択科目を多くしたゆとりある教育を行っています。医学部附属病院を主な実習病院としていることから、充実した最新の医療における看護が学べます。また、看護師および保健師国家試験受験資格の他に、助産師国家試験受験資格（選択）も得ることができます。

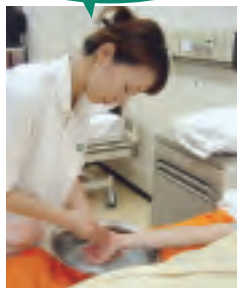
教養・基礎医学教育の導入から基礎看護学へ

1年生から2年生では、基礎科目・専門基礎科目で、看護の対象となる「人間」とは何か？や、人間の体の機能・構造などについて学びます。同時に、「看護」とは何か？ということから、コミュニケーション技術、看護の展開の方法、そして学内演習において、基本的な援助技術を学びます。初めての病院実習も体験します。

指の間も
きれいにしましょう



感染防止のガウンテクニック



寝たきりの患者さんの手を洗う

保健師課程

地域の人々がより健康に暮らし、病や障害を得たときにも安心して暮らせる支援ができるように、看護の知識・技術を、保健、医療、福祉、環境の視点を含めて学びます。人々の主体性を活かし、科学的根拠に基づいた支援のできる保健師・看護師を目指して、講義・演習、3、4年次には、健康福祉センター（県の保健所）、市町村保健センター、訪問看護ステーションの実習を経験して学びを深めます。



訪問看護実習

2年生後期からの看護学専門領域の講義・演習

2年前期から3年後期にかけて、将来看護師として人々とかわるために必要な専門的知識・技術を講義ならびに演習を通して学びます。成人・老人看護学および精神看護学では成人（おとな）と老人を、母子看護学では女性と子どもを対象として、それぞれの時期における成長・発達の特徴、さまざまな健康問題への対応について理解し、看護援助法を学びます。



心音聴診の演習

3年生後期から始まる臨地実習

3年後期から4年前期にかけて臨地（病院や施設）実習を行います。成人・精神・母子看護学は隣接する福井大学医学部附属病院、老人看護学は学外の医療施設及び介護老人保健施設において実習します。実習では健康問題（病気など）をもった人を受け持ち、計画的に看護実践を展開し、対象の個性に応じて看護ケアを提供する能力を養います。



病棟でのカンファレンス

助産師課程（選択）

選択科目で、分娩助産やお母さんと新生児、その家族の支援方法について学びます。4年後期に福井県内の病院で、約10例の分娩助産実習を行います。福井県で助産師を養成しているのは唯一本学だけです。



助産学演習

オキヤー
オキヤー

なるといふ!!



基礎看護学

教授 上野 栄一
Eiichi Ueno

私が看護学生だった頃のことです。ある患者さんに清拭をしていた時、「あなた方が一生懸命してくれるから、わたしらも頑張れるのや」と言われました。今でもこの言葉は忘れることはありません。看護には、様々な人々との出会いがあります。患者さん、家族、地域と看護の対象は広いのです。イタリアの友人が私にこう言いました。『看護は聖職です。Saint jobです。看護には愛があります。』と。20世紀後半ナイチンゲールが看護学の礎を築き、その後多くの理論家が輩出し、多くの先輩たちが活躍しています。あなたもこの福井大学で看護を学びませんか。

大学院医学系研究科

定員：博士課程 30名、修士課程12名

大学院医学系研究科には、医学領域を専攻対象とする博士課程と看護学領域を専攻対象とする修士課程があります。

博士課程

医学部医学科卒業者や他学部の修士課程修了者などが入学できます。先端的医科学や高度先端医療の担い手、リーダーを養成します。



博士課程の授業風景

独立して研究を進めるために必要なコンピューターや医学統計、論文作成や発表法に関する基礎的講義に加え、生命倫理や専門分野に関する講義、学内外の著名研究者を招いてのセミナーを受講します。

さらに、自らのテーマを持ち、先端研究の担い手として指導を受け研究活動に従事します。

医学部では、生命科学・臨床医学のいろいろな分野で、数多くの先端的研究が行われています。「生体画像医学」は本学が得意とする大きなテーマですが、転写因子の働き、



博士課程の実験風景

脳や免疫系に関する研究、生殖医学に関する研究など世界的に高い評価を受けている研究が数多くなされており、入学後は、これらの研究に実際に参加します。

修士課程（看護学専攻）

高度な看護実践の専門家、および教育・研究者を養成する修士課程（看護学専攻）では、看護学の基盤となる幅広い領域の知識の習得と、実践・研究能力の向上を目指します。対象者は看護学系大学卒業者や、3年以上の臨床経験を持つ看護師・保健師・助産師です。

基礎・地域看護学分野では、看護ケアの質の評価や看護における倫理的問題、地域住民の健康を促進する支援方法などについて研究します。成人・老人看護学分野では、身体的あるいは精神的健康障害をもつ成人、老人を対象にした看護実践方法に関する研究を進めます。また、母子看護学分野では、母子を取巻く健康問題の解決法について研究します。大学院生は、各分野の研究者および専門家から講義や演習、および実験に関する指導を受け、自らの研究を発展させていきます。



看護学専攻の実験風景

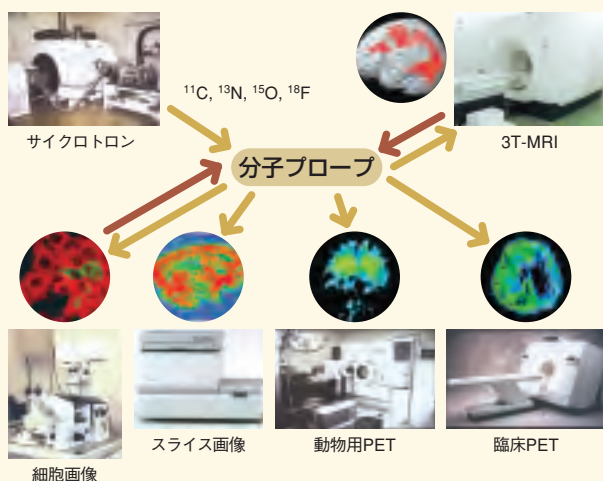


看護学演習

※なお、大学院は有職者も就学できるよう、夜間も開講しています。

なるほど!!

生体画像医学の統合研究プログラム



21世紀COEプログラム 「生体画像医学の統合研究プログラム」

文部科学省は世界最高水準の大学づくりを推進するため、全国の大学院（博士課程）の中から、優れたプログラムを選び21世紀COEプログラムとして支援しており、本学大学院医学系研究科も選出されています。

本学のプログラムは、高エネルギー医学研究センターと医学部（医学系研究科）が手を取り合い、生命現象や疾患を非侵襲的に画像化する分子イメージングの拠点を目指すものです。これにより、分子生物学などの情報に基づくがん・痴呆などに関する先端画像医学を確立し、保健・医療の推進に貢献し、さらには画像技術を用いる新しいシステム医科学の創成を目指しています。

医学部附属病院

病床数：600床 診療科：25科

当院は昭和58年10月に開院しました。病院の理念として“最高・最新の医療を安心と信頼の下で”を掲げ、福井県で唯一の特定機能病院として、地域の中核的医療と高度先進医療を担当しています。卒前臨床実習では、充実した診療・研究環境下、熟練した先輩医師による指導体制をクリニカルクラークシップ制を中心に導入しています。以下に当院の主な特色を紹介します。



高エネルギー医学研究センターとの協力体制

原発立地県の特定機能病院として、高エネルギーを先進医療に生かす研究を本学の特色である高エネルギー医学研究センターと共同で活発に行っています。この伝統を基盤として、平成17年4月に先端医療画像センターを設立し北陸で初めてPET-CTと3T-MRを導入するとともに、MD-CT等最新鋭の検査機器を整備して微小がんや、脳血管障害の診断を開始するなど、患者様にその成果を還元しています。



■超感度PET-CT装置



■超高速16ch MD-CT装置画像

患者様に安心して診療を受けて頂ける病院作り

安全な病院作りに力を入れ、患者様の安全管理の世界的指標であるISO9001を平成15年に国立大学病院としては第2番目に病院全体で取得し、世界的な基準をクリアしました。

現在、国立大学病院でおそらく唯一の医療訴訟のない大学病院です。医療安全管理と院内感染対策を一元化した医療環境制御センターを設立し、充実した体制で患者様に安心して療養に専念して頂けるよう、不断的努力を続けています。さらに、20分以内に患者様の紹介や逆紹介の連絡が可能なシステムとして地域医療連携センターを設置し、平成16年1月からスタートしています。



(ISO9001:2000認証)

特色ある高度先進医療の充実

高エネルギー医学研究センターとの連携による診療に加え、先進医療を活発に実施しています。“高度先進医療”も平成16年度に新たに2件が承認され、計4件となっています。

悪性腫瘍領域では、白血病などの血液がんの治療のため、無菌室及び準無菌室計16床（内科、小児科）を有し、県内唯一の骨髄移植財団認定施設です。

外科も肝臓手術など各専門分野で全国有数の症例数を持っています。心・脳血管障害については、急性心筋梗塞の心臓カテーテルによる治療の24時間体制、不整脈のアブレーション治療、心疾患・大動脈瘤の緊急手術など、高度医療の実績は順調に増加しています。

女性の健康問題を総合的に診療する中高年女性総合外来、禁煙外来、アスベスト・中皮腫外来、周産期・未熟児医療の体制も整備され、ICUを6床に増やして術後の安全性をさらに高めています。また、悪性腫瘍患者様などのためのセカンドオピニオン外来も開設しています。



■**術中CTスキャン** 既存の手術室に自走式ヘリカルCTを導入しました。開創中に病変の摘出程度が短時間に描出でき、立体画像も撮影できます。特に、脳手術で深部の腫瘍摘出程度や頸椎部の骨削除範囲の確認などに有用です。



■**未熟児室** 未熟児診療部は超低出生体重児が多く入院し、高度な医療の提供、家族に対する心理的・精神的支援を医師、看護師が協力し、細やかなケアを実践しています。

充実した卒後臨床研修体制

全国の国立大学病院に先駆けて注目を集めているのが本病院の卒後臨床研修システムです。北米ER型の救急部と総合診療部が一体となり外来診療を原則とする全国でもユニークな診療体制の下、大学病院でありながら救急や一般診療についても充実した研修を受けることができます。さらに、ACLS（二次救命措置）を含む救命救急技術の習得や、毎週金曜日の研修医向け勉強会（院内コアレクチャー）などを基礎とした福井大学方式というべき独自の研修システムを構築しています。

卒後3年目以降の各診療科の専門医養成のための後期研修プログラムも魅力あるものとしてすでに作成され、ホームページ等に公開されています。



■ACLS（二次救命措置）



■**救急部** 救急部と総合診療部が一体化して、北米ER型救急外来で救急の初期診療にあたっています。

Faculty of Engineering 工学部

夢を形にする技術者、IMAGINEERをめざして



高校生の皆さんは、工学部にどのようなイメージをもっていますか。高校には、数学、物理など、理学に関する科目はあっても、直接工学に関する科目

がない場合もあり、なかなか想像しにくい学部かも知れません。ところが実は、色々な学問の中でも、私たちに最も身近なものです。現代の豊かな生活・社会を支える科学技術は、殆ど工学の成果であると言って良いでしょう。日常何気なく使っている製品、ハイテクを駆使した機器、新素材、エネルギー、分子や生命、社会構造や情報、環境までもが工学の対象です。これまで基礎研究が工学を支えてきましたが、今やどのような基礎研究も、コンピュータや高精度の実験装置なしには考えられません。工学は人類の叡智を、人類のために形として具現化する学問と言えるでしょう。

福井大学工学部の教育目標は、IMAGINEERの育成です。夢を描き（IMAGINE）、それを形にする人（ENGINEER）として社会に貢献する高度専門技術者を育成することです。夢を形にするためには、最先端の専門的な知識を習得するだけでなく、常に自らを批判的に省み、自分の能力を高め、創造力を育む必要があります。さらに、社会に貢献するためには、広い教養を身につけ、多

くの人と関わる積極性とコミュニケーション能力を磨かねばなりません。そのために行われている本学部の教育は、文部科学省の特色ある大学教育支援プログラムや現代的教育ニーズ取組支援プログラムに採択されるなど、外部からも高い評価を得ています。

福井大学工学部は、殆どの分野を網羅した8学科で構成され、日本有数の大規模な工学教育研究機関です。日々進化する工学にすばやく対応し、皆さんのどのような期待にも応えることができるでしょう。また、学部学生の50%が進学する工学研究科は、博士前期課程10専攻、後期課程4専攻からなり、より高度な世界水準の教育研究を行っています。学部、研究科の在学者数は、総勢3,252名に達し、卒業者は各方面の第一線で活躍しています。

日本の生命は科学技術において世界をリードすることであると言われています。海と山に囲まれた豊かな自然の中で、その牽引者となることをめざしてみませんか。



Profile

工学部長
鈴木 敏男
Toshio Suzuki

1944年10月生、1972年東北大学大学院理学研究科修了、理学博士。東京大学、トロント大学、フランス・オルセー原子核研究所、京都大学等を経て、1991年福井大学工学部教授。2006年4月から工学部長・工学研究科長。専門は原子核理論。原子力の源である原子核の構造を探索。これまで国内外15ヵ所に及ぶ研究機関で活躍。楽しみは世界各地の美術館巡り。

工学部URL <http://www.eng.fukui-u.ac.jp>

工学部

機械工学科
電気・電子工学科
情報・メディア工学科
建築建設工学科
材料開発工学科
生物応用化学科
物理工学科
知能システム工学科

【大学院】

工学研究科 博士前期課程

機械工学専攻
電気・電子工学専攻
情報・メディア工学専攻
建築建設工学専攻
材料開発工学専攻
生物応用化学専攻
物理工学専攻
知能システム工学専攻
ファイバー・アモニティ工学専攻
原子力・エネルギー安全工学専攻

工学研究科 博士後期課程

物質工学専攻
システム設計工学専攻
ファイバー・アモニティ工学専攻
原子力・エネルギー安全工学専攻



機器分析



超低温物性実験施設



機械実習

工学部の教育

Imagine+Engineering=Imagineering

人と環境に優しい工学技術をめざして、学び、探求する

学生のための学習支援

学 生

- 新入生合宿、大学教育入門セミナーによる大学生活へのスムーズな移行。
- 助言教員制度による履修アドバイス。
- 授業の目的、各回の授業内容、成績評価基準などを明示したシラバスの公開。
- すべての授業科目について、担当教員に直接質問できるオフィスアワーを設置。
- 学生による授業評価アンケート、優秀教員の選出。
- 学生の自立をITを活用して支援するJIBUN探求支援プログラム。
- 福井大学工学部学生育成会、福井大学工業会による学習活動支援。

基礎から先端技術へ

多様な学習履歴を持った
新入生のための補習授業数学ステップアップ
英語ステップアップ

共通教育科目

幅広い知識と
豊かな人間性を
育みます。

専門基礎科目

理数系の基礎科目や
各学科の
専門基礎となる科目を
しっかり学びます。

専門科目

先端技術の習得を
目指して各学科の
専門科目を学びます。
実験、実習、演習を重視し、
高度な問題解決能力を
育成します。基礎学力とともに
社会で活躍できる
創造力と人間力を
育成します。

副専攻制度

専門分野以外の学問領域へ
の関心を深め、高度な教養
としての広い視野を養いま
す。卒業時に副専攻修得認
定証が交付されます。学科、学年を超えた学際科目による
自主的な能力獲得支援

- 工学部共通科目
- 学際実験・実習
- 創造力を育成する各種の学生参加型プログラム

卒業研究

研究室に入り1年をかけて
卒業論文や計画をまとめます。社会で活躍
大学院でさらに研究



人・環境調和型のモノづくりを目指して

機械工学科 Mechanical Engineering

今までは、効率優先の生産競争に重点が置かれてきましたが、今は人と地球環境に配慮した生産技術への変革が求められています。この21世紀には、地球規模での資源の有限性と環境との調和にかかわる工学・工業の問題の解決が課題となります。また、材料、解析、設計、加工、計測、制御等の技術の高度化が進んでいます。これらのことから、福井大学工学部機械工学科では、次のような教育目的を掲げています。

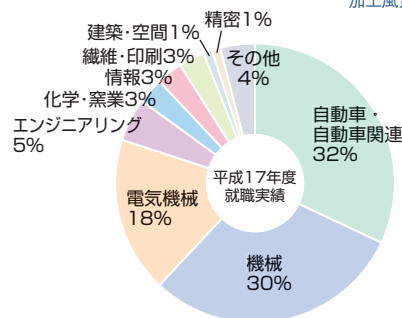
人が環境と調和した快適な社会生活を過ごすためのモノづくりに寄与できる基礎学力と応用能力を有し、未知の問題に取り組む能力を備え、倫理観を持った国際社会で活躍できる機械技術者を養成します。



引張試験風景



加工風景



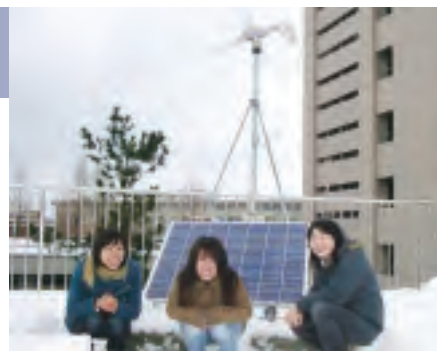
ハイテク技術の心臓部

電気・電子工学科 Electrical and Electronics Engineering

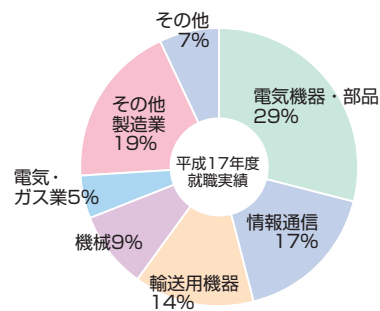
科学技術の著しい発展の中で、電気・電子工学は、生産、輸送などのあらゆる産業構造の神経系統としての計測・制御・管理システムの基本技術であるとともに、高度情報化社会の実現をハードウェア、ソフトウェアの両面から牽引する中核的技術として発展してきています。学科は、物性・デバイス工学、エネルギー工学、システム工学の3分野で構成しています。すなわち、高度情報化社会は、先端的電子、光デバイスが新しい技法、ソフトウェア技術に基づいてシステム化され、そこに高効率で安定なエネルギーがあって始めて実現されることになります。これらの研究教育を行っています。



半導体製造風景



風力・太陽光発電を含む系統の制御



なるほど!!

工学部 part 1



工学研究科
材料開発工学専攻
助教授 米沢 晋
Susumu Yonezawa

「福井生まれの最先端科学技術（ナノめっき技術）」

「ざる」で水がすぐえると言ったら、皆さんはどう思いますか？「そんなわけじゃない。」と言われるかもしれませんが、写真を見てもらえばわかるとおり、ある仕掛けをしてやると「ざる」で水がすぐえるようになります。その仕掛けとは、「電気めっきによる超撥水性複合めっき皮膜作製」です。元来めっき皮膜に異物が混入するとそのめっきは「失敗」となるのですが、それを逆手にとって機能性微粒子を金属マトリクスにくっつけておく方法として積極的に利用してやろうというのがこの技術のコンセプトです。

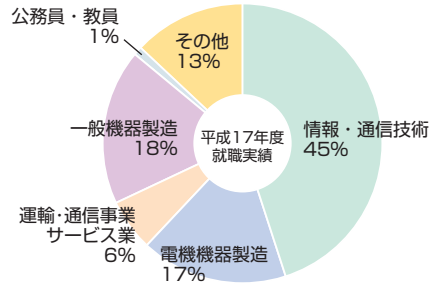
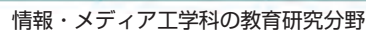
「ざるで水がすぐえたらどうだというのだ？」と思っているそのあなた。めっき技術はイミテーションをつくる技術から、高性能電池材料や精密電子回路、極微小電子部品などの作製のためにはなくてはならない、最先端の精密材料創製技術へと脱皮を遂げていますよ。そしてその一翼を担っているのが実は福井大学だと聞いたらわくわくしてきませんか？





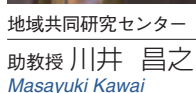
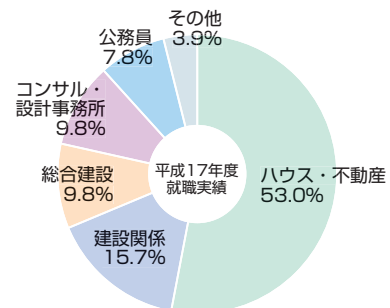
情報・メディア工学科 Information Science

情報・メディア工学は若い学問であり、急速に発展するユビキタス（移動性に優れた情報通信）社会を担う学問です。20年前、計算機室に鎮座していたコンピュータは今では手のひらにのるほどに小型化、高性能化し、インターネット技術の高度化とあいまって、いつでもどこにおいても情報を操作することができるようになりました。このようなユビキタス環境は社会構造をも変えようとしています。本学科では新時代にマッチした最新のハードウェア技術、通信技術、ソフトウェア技術の教育・研究を行っています。



建築建設工学科 Architecture and Civil Engineering

様々な人々が生活する都市、建物、周辺環境を、安全で快適な、そして美しいものとするための計画・設計・施工の全般にわたる理論と技術体系を研究し、人材を育成します。学問分野には、自然科学、社会科学、そして、環境を創造する理論と方法を追求する計画論・設計論・施工論やデザインの分野があり、これらの広範囲な分野をカバーする多彩な授業科目を開講しています。



「仮想現実世界をつかむ」

最近のコンピュータの進歩には目覚ましいものがあります。我々が住む世界の様々な現象をコンピュータの中で計算し、その結果をあたかも実際に存在するかのようなリアルな映像で表示する技術も発展してきています。このような技術は、バーチャルリアリティという名前で世の中に普及しつつあります。この技術の次の課題の一つとして、それらのコンピュータ内で計算された物体に触ったり、掴んだりする感覚を人間に提示する力触覚提示技術が挙げられます。この技術では、指先などにロボット

を取り付けて、仮想の物体の重さや表面摩擦の感触などを人間に提示します。写真は、眼鏡型の液晶ディスプレイに視線方向の映像を映し出し、また二本の指に取り付けた装置で仮想の「雪だるま」を掴んでいる感覚を人間に提示しているところです。この技術を用いると、まだ設計段階の製品を試作なしに体感したり、繰り返し行うことが難しい手術などの練習を繰り返し行えるようになるなど将来様々な分野への応用が期待されています。



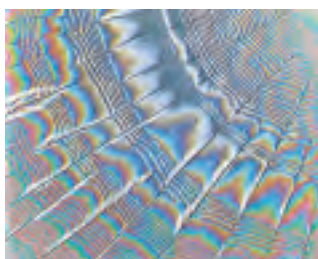


こころ豊かな生活をささえる新材料開発

材料開発工学科 Materials Science and Engineering

社会から信頼される工学をめざして、現在、工学の世界ではダイナミックな変革が起こりつつあります。そのような工学諸分野に素材を提供するのが材料開発工学の役割です。モノを創り出すことは、生活をデザインすること。これからの材料開発には、モノ・人・社会そして環境のつながりを総合的に理解する知識と知恵が必要です。

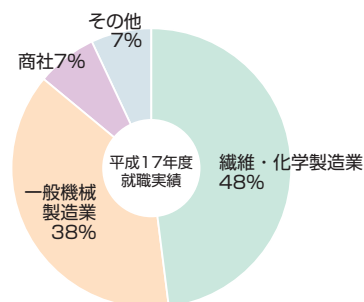
材料開発工学科のカリキュラムでは、「学生ひとりひとりが、理解する喜びを実感できる教育」をモットーに、無機・有機・高分子などの材料の設計・製造・加工を主体的におこなえる技術者を育成します。材料開発を通じて人類の幸福に貢献することを夢見る諸君の挑戦を待っています。



放射状に成長する高分子結晶



ファイバー紡糸装置による実験風景



化学とバイオテクノロジーの融合をめざして

生物応用化学科 Applied Chemistry and Biotechnology

「化学」は自然現象を分子のレベルで解明し、その基礎の上に立って医薬品や農薬、化学繊維、合成樹脂などの様々な化合物や物質を作り出して発展してきました。一方、生命現象を分子の機能として理解する「生物化学」は、遺伝子工学・蛋白工学・細胞工学などの新しい技術、いわゆるバイオテクノロジーを生み出し、物質生産や診断、環境保護へ応用されています。

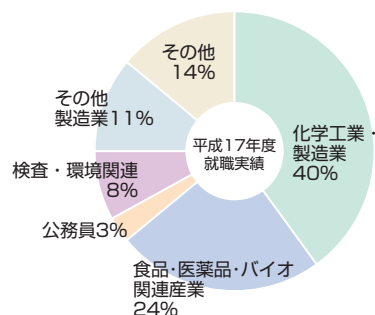
21世紀の目指す社会は自然と共生しながら、持続的な成長を続ける社会です。本学科では、「化学」と「生物化学」との学際的領域を開拓し、真に豊かな社会の実現を目指す人材の育成を行います。



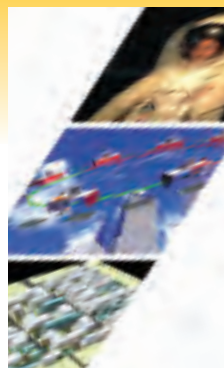
学生実験（顕微鏡観察）



遺伝子組み換え実験



大学院独立専攻※

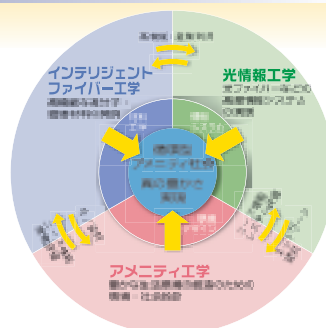


3分野の連携から融合へ

総合力で本物の豊かさを創造する

ファイバーアメニティ工学専攻 Fiber Amenity Engineering

本専攻は、平成14年に福井大学で初めて設立された「独立専攻」であり、20世紀の福井の産業をリードしてきた「繊維（ファイバー）」を核に、全ての工学分野が力を合わせて21世紀の新しい産業と「本物の豊かさ（アメニティ）」を創り出すことを目指して、多くの社会人や留学生を交えて学際的・国際的な教育研究を展開しています。4年生の研究室配属時や大学院進学時に多くの皆さんが関心を向けていただくことを期待しています。





基礎科学と先端技術の架け橋

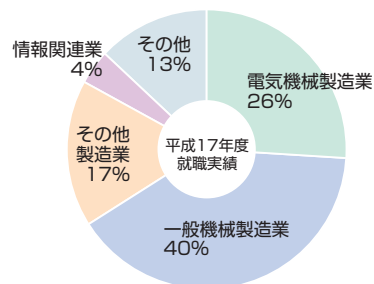
物理工学科 Applied Physics

現代のテクノロジーの多くは、20世紀前半に始まった物理学の革命に源を発しています。科学的に見て面白いことこそが、革新的な技術につながるのです。すでに魔法の領域にまで達した最先端のテクノロジーを理解するには、物理の基礎をしっかりと学ぶことが必要です。数学や物理を武器に、物質のミクロな構造や極限状態に迫る—それが本学科の教育と研究の目標です。

科学・技術の進歩は速く、今日の知識は明日には役に立たない—本学科の目指すところは特定の分野の専門家ではなく、これからの技術革新に応えられる技術者を育てることです。物理工学科の卒業生は「新しいことに挑戦するのを嫌がらない」という評価を得ています。



物理のフロンティアに挑む実験風景



21世紀は知能を持つシステムが支える

知能システム工学科 Human and Artificial Intelligent Systems

21世紀は共生の時代といわれ、「いかにヒトと共生できるか」を追及した新しいタイプのソフトウェアや機器が、生活の場に入ってきます。それらを実装するにはマルチメディアやメカトロニクスに詳しいとともに、ヒトそのものについても知る必要があります。

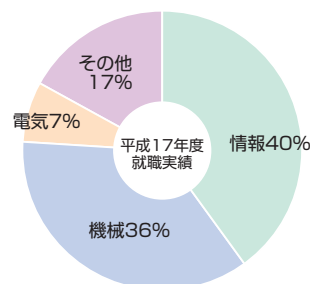
「知能システム工学科」では、ヒトについても詳しい総合的な思考ができる新しいタイプの科学技術者の養成をめざしています。そこには、計算機ソフトウェア、知識情報、メカトロニクス、ロボット、計測・制御、人間情報、複雑系などの分野が総合されています。ヒトや生物に学んだ知能を持ったシステムをつくる上で必要な技術を、基礎から応用まで一貫して学ぶことができる新しい学科です。



ライントレースコンテスト風景写真



アクチュエータの創成とロボティクス（応用）
（周囲の温度に応じて運動性が変化します）



大学院独立専攻※



原子力関連施設の見学や実習も実施します

「安全と共生」を目指す学際的研究教育アプローチ

原子力・エネルギー安全工学専攻

Nuclear Power and Energy Safety Engineering

原子力・エネルギー安全工学専攻では、エネルギーおよび原子力に関する問題を「安全と共生」という観点から学際的・学術的にアプローチし、教育・研究を進めます。日本のエネルギー事情と原子力エネルギーの役割の重要性、原子力の環境および社会における受容性、原子力技術者の不足と

いう現実を照らし合わせ、原子力とエネルギーにおける諸課題に関する研究を進展させ、同時に、この分野で活躍できる高い倫理観を持つ高度専門技術者を育成することを目的としています。

キャンパス紹介

文京キャンパス





課外活動共用棟



地域共同研究センター



体育館



六呂師山荘

課外活動や交流親睦に
利用できる「山の家」です



第二体育館



遠赤外線域開発研究センター



ベンチャー・ビジネス・
ラボラトリー



援センター
機器分析部門



体育館



弓道場



医学図書館



プラザ



高エネルギー
医学研究センター



武道場



講義棟



附属病院
外来・中央診療関係

松岡キャンパス

Campus

サークル紹介

Life

福井大学では、学生が自主的に活動する様々なサークルがあります。違った学部から同じ目標を持つ仲間が集まる活動のなかで、いろいろな経験をし、より充実した楽しい学生生活を送ってみてはどうでしょうか。ここでは、たくさんのサークルの中から、ほんの一部をご紹介します。



吹奏楽部(文京)

私達吹奏楽部は、現在部員40名程度で活動しています。毎週、水・金・土曜日に練習をし、福大らしい音楽を奏でられるよう努力しています。昨年、全日本吹奏楽コンクール北陸大会に福井県代表として出場し、銀賞を受賞しました。毎年12月には定期演奏会も行っています。興味のある方はぜひ見学に来てください。



バドミントン部(文京)

部員みんなは、「3度の飯よりバドミントンが好き！いつも見る夢はバドミントンの夢ばかり！」という、寝ても醒めてもバドミントンのことを考えているような部活ですが、みんなが充実して楽しい時間を過ごしています。



グリーンエコ合唱団(文京)

平成17年度福井県合唱コンクールで理事長賞をいただきました。いつも、みんなで楽しく歌っています。定期演奏会も行っています。



水泳部(文京)

水泳部は夏だけの活動だと思われがちですが、年間を通して盛んに活動を行っています。主な大会は、北陸地区国立大学体育大会、新人戦、中部大会、県戦ですが、他にも24時間耐久リレーや海合宿などの楽しい行事もたくさんあります。また、他大学との交流戦も盛んで、福井大学以外の大学の人も仲良くなったりできます。経験者はもちろん、初心者も大歓迎！先輩が優しく指導しますよ。

[文京キャンパス]

体育系サークル(44団体)

- アメリカンフットボール部
- 合気道部
- 歩こう会
- オーストリアスキー部
- オリエンテーリング同好会
- カヌー部
- 空手道 月心会
- 弓道部
- 競技スキー部
- 極真空手同好会
- 剣道部
- 航空部
- 硬式卓球部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- シーズン・スポーツ・クラブ
- 蹴球力学第一
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 小林寺拳法
- 女子ソフトボール部
- 水泳部
- セーリング部
- ソフトテニスサークルもあ
- ソフトテニス部
- ソフトボール部
- 男子バスケットボール部
- 男女バレーボール部
- テニス愛好会
- テニス同好会
- TCスタジオ
- 軟式野球部
- バスケットボール同好会
- バドミントン部
- バレーボール同好会
- ハンドボール部
- F.E.E
- ポーリュシカパーレ
- よっしゃこい
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部

文化系サークル(30団体)

- ART DESIGN CIRCLE. BBS
- ESS
- Free Music Club
- Fukui Comic Studio
- MUSIC LIFE
- Peace Creators Club
- SF研ゲーマーズクラブ
- Starry Night
- 映画部
- 演劇部
- からくり工房! Sys
- グリーンエコ合唱団
- 茶道部
- 児童文化研究会
- 社会思想研究会
- 写真部
- 将棋部
- 書道部
- 吹奏楽部
- 電子工学研究会
- 美術部
- フィルハーモニー管弦楽団
- 邦楽部
- ポピュラーミュージック研究所
- ぼらんち
- ボランティアサークルTogether
- マイコン部
- ユネスコ倶楽部
- ロック研究所



弓道部 (松岡)

みんなで仲良く楽しく弓道を頑張っています。弓道になじみのない方も多いと思いますが、一度始めるとその魅力にやみつきになってしまいます。一緒に弓道をやって、楽しい大学生活を送りませんか？待ってまーす!!

管弦楽団 (松岡)



バレーボール部 (松岡)



硬式庭球部 (松岡)



野ばら会 (松岡)

野ばら会では、大学内を花でいっぱいにし、また個人で好きな花を植えたり、仲間同士協力して花を育てたりしています。時には花を育てる専門の方たちにアドバイスを頂きながら活動しています。

[松岡キャンパス]

体育系サークル(26団体)

- 学生体育会
- 硬式庭球部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- 剣道部
- バドミントン部
- バスケットボール部
- 準硬式野球部
- 空手道部
- ワンダーフォーゲル部
- 柔道部
- ラグビー部
- バレーボール部
- サッカー部

- 陸上競技部
- スキー部
- 水泳部
- ゴルフ部
- 弓道部
- ヨット部
- ハンドボール部
- フルコンタクト空手部
- free style ski team BUSTARDS
- テニスサークルAPOLLON
- Dig'n' Ground
- ダンス部

文化系サークル(21団体)

- 文化系サークル会
- 合唱団Vocal Society
- 軽音楽部
- E・S・S
- 写真部
- 美術部
- マイコン部
- 茶道部
- 華道部
- 管弦楽団
- 熱帯医学研究会
- 精神医学研究会
- 漫画研究部
- Medical Communication

- 献血推進サークル
- グルメクラブ
- 考古学inフクイ
- FEAL
- 野ばら会
- 将棋研究会
- 福井ACLS



Dig'n' Ground (松岡)

Dig'n' Groundは約20人の愉快的仲間たちが集まったスノーボードサークルです。



アメリカンフットボール部 (文京)

福井大学アメフト部シルバーフェニックス。部員は、選手26名、マネージャー6人。楽しく、そして熱い。必要なのはソウルパワー。体型なんて関係ない。目指せ！全国制覇!!

Campus Life

福大生の1日・1週間・1年

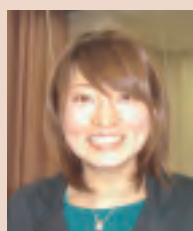


森本 和馬さんのある一日

(教育地域科学部 学校教育課程1年)

- 8:40** 一限目地球の物理
10:20 一旦帰宅。洗濯をしたり部屋の掃除。
12:10 早めに体育館へ。授業が始まる前にみんなでバスケット。冷たい体が一気にぽかぽかに。
12:50 三限目球技(バスケット)ひきつづきバスケット、フットワーク、パス、シュートなど基礎から練習。授業の最後はみんなで試合。みんな本気で勝負!!
14:30 学食で休憩。おやつタイム。
16:10 五限目衛生学及び公衆衛生学。僕の好きな授業の一つ。先生の説明は分かりやすく、分からないことも丁寧に説明してくれる。
17:40 大好きな部活へ。走って走って走りまくり。目指せ自己新記録!
20:00 帰宅。慣れない料理で夕食作り。なかなかうまくできない。お袋の味が懐かしい。夕食後はテレビをみたり読書をしたり。あとはレポート作りをしたり。アルバイトは週に1,2回。授業や部活で忙しい毎日だけど友達みんなと過ごす毎日はとても楽しい!

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1限	言語生活論		教科生活基礎	地球の物理	生活技術基礎
2限	教科保健基礎	現代家族と福祉 ジェンダー	身体と創作C		地域と学校
3限	中国語	運動生理学		球技Ⅲ	
4限	教科社会基礎	英語			
5限	体育史	体操	身体と創作A	衛生学及び公衆衛生学	



木川 由子さんのある一日

(医学部 医学科1年)

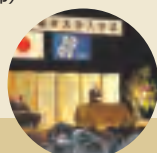
- 8:40** 1限目、フランス語。英語以外の第2外国語は、フランス語・ドイツ語・中国語から一つ選べます。
10:20 2限目、物理。医学部には物理も必要なのです…。
11:50 お昼休み、友達とご飯を食べます。時間があるときは外へ食べに行きます。
12:50 3限目、数学。テーラーの展開式…。
14:30 4限目&5限目、医学入門&概論。医学の基礎を学ぶのです。
17:40 放課後、部活へGO!!部活後には、みんなでご飯を食べに行きます。しかも!!バスケ部では1年生は全員で馳走になります。

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1限			フランス語	芸術学	
2限		社会学	物理	情報	生命/物理
3限	物理/生命	英語	数学	英語	倫理
4限	生命	心理	医学入門/概論	体育	経済学
5限				生物入門	
	部活	バイト	部活	バイト	バイト

CAMPUS CALENDAR

4
April

- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 定期健康診断(文京キャンパス)
- 前期授業開始
- 新入生合宿研修(工学部)



5
May

- 大学祭(文京キャンパス)
- 一日遊学2006in文京
- 新入生合宿研修(医学部)
- 定期健康診断(松岡キャンパス)
- 御遺骨返還式(医学部)
- 臨床実験(～6月)(医学部看護学科4年)

6
June

- 教育実習(4年生)



7
July

- 大学説明会
- 北陸地区国立大学体育大会
- 西日本医科学生総合体育大会(～8月)



8
August

- 夏季休業
- オープンキャンパス
- 教育実習(～9月)(3年生)



9
September

- サークルリーダーシップトレーニング
- 教育実習(3年、4年生)
- 臨床実習第1ラウンド開始(医学部医学科)
- 臨床実習開始(～2月)(医学部看護学科3年)



学生生活 支援情報

授業料の免除制度や奨学金

経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合に、授業の全額または半額を免除する制度があります。また、日本学生支援機構（旧日本育英会）をはじめ、種々の奨学金制度があります。奨学金には返還義務のある貸与制と返還義務のない給与制があります。

旅客運賃割引証（学割）

JRを利用して旅行する場合で片道100kmを超えるときは、学割を利用すれば2割引になります。ただし、使用枚数の制限や有効期限があるので注意しましょう！

福井大学生生活協同組合

文京キャンパスには、生活協同組合があり、学生の皆さんの生活をバックアップしています。下宿・アパート探しのお手伝いから、生活に必要な家具、家電、教科書等の販売を行っています。



大杉 拓矢さんの一週間

（医学部 看護学科1年）

専門科目はそのほとんどが2年生からで、1年生のときには主に基礎科目を中心に学びます。前期は、講義が1～4限までつまっていてちょっときついけどそんなことは気にせずに講義が終わったら部活にバイトに遊びに・・・思いつき大学生活を満喫しよう！後期は、講義の数が前期よりも少なくなるから、前期よりアフタースクールを楽しもう！でも、前期にテストを落とすと再試験の勉強で十分に遊べないので、きちんとテストに合格しよう。そうすれば、とても充実した大学生活が楽しめるかな。

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1限		統計	環境	(選択) 芸術/哲学	英語Ⅱb
2限	情報	(選択) 文学/社会学	生活	健康	英語Ⅱa
3限	概論	解剖	化学	(選択) 生化学	実験
4限	(選択) 体育	(選択) 解剖	(選択) 倫理	英語Ⅰ	実験
5限		サークル		(選択) 体育	
				サークル	



中村 祐士さんの一週間

（工学部 情報・メディア工学科1年）

プログラム関係の仕事に就きたくて、情報・メディア工学科を選びました。十分な数のPCがあり、設備も充実している良い環境だと思います。テスト勉強と情報演習が少し大変ですが、サークル活動や友人との会話などで気分転換しています。土、日曜日は、授業の予習・復習をきっちりして、あとは自由時間・・・

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1限	一般教養 (西洋学)	微積Ⅱ	計算機言語Ⅰ	一般教養 (ヴィクトリア朝)	
2限	力学Ⅱ	一般教養 (「社会がわかる とは?」)	情報工学演習Ⅱ	線形代数	数学演習
3限			レポート	中国語	
4限	英語Ⅱ	サークル		ベクトル 解析	レポート
5限	サークル		サークル	情報メディア 実践	

10
October

- 開学記念日
- 学生募集要項発表
- 後期授業開始
- 医学部晩祭
- 北陸三県大学学生
交歓芸術祭(～11月)
- 一日遊学2006in松岡
- 合同慰霊祭
- 就職ガイダンス
(後期数回)

11
November



12
December

- 冬季休業



1
January

- 大学入試センター試験
- 臨床実習第2ラウンド
開始(医学部医学科)

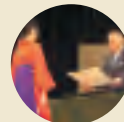


2
February

- 後期試験
- 春季休業(教育・工学部)
- 個別学力検査／
前期日程
- 医師国家試験
- 看護職国家試験
- 学内合同企業説明会

3
March

- 個別学力検査／
後期日程
- 学位記並びに修了証書
授与式
- 春季休業(医学部)

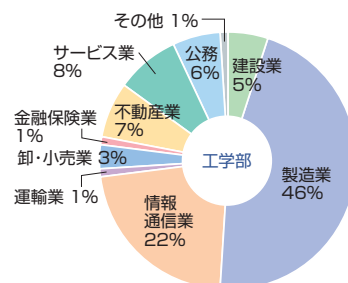
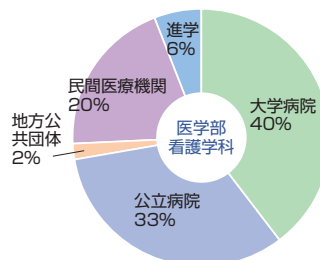
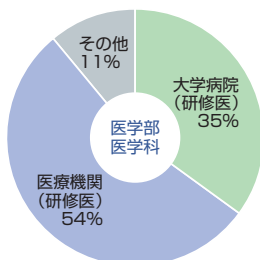
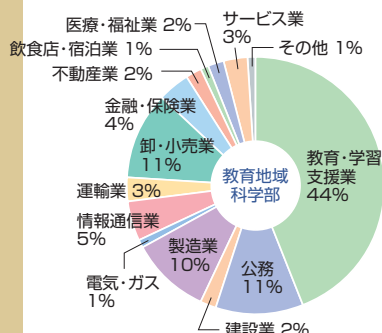


Campus

就職支援

Life

就職実績 (平成17年5月1日現在)



就職サポート情報

福井大学では、教育学域科学部、医学部及び工学部の就職関係委員及び就職支援室が連携して、就職指導・相談等の支援を行っています。

1. ガイダンス

就職ガイダンスでは、就職支援の専門家や先輩達を招いての講演会等により就職活動を支援しています。

2. キャリア相談

経験豊かなキャリアカウンセラーや、就職関係委員が、就職活動の悩みについて個別に相談を行い支援しています。

3. 企業説明会

県内外の企業の人事担当者を招いて、直接企業の情報を収集する機会を設け、就職活動を支援しています。

4. インターンシップ

県内企業団体の協力を得て、就業体験を通じて企業団体の実態や地域活動への理解を深め、職業観を醸成するとともに、より実践的な素養を身につけます。

5. 就職情報

就職資料室には、企業・団体からの求人情報や就職支援情報誌等をそろえ、自由に閲覧することができます。

また、福井大学のホームページから「福大求人票閲覧システム(学内者専用)」にアクセスし、Web上で本学への求人情報を閲覧することができます。

6. 模擬面接

企業就職希望者に対する外部のキャリアカウンセラーによる企業向け模擬面接、また、教員希望者に対しては教育学域科学部就職関係委員等による模擬面接を実施し、マナーや態度についての指導・助言を行い、就職活動を支援しています。



7. 試験対策

教員採用受験者向けには、教員採用試験対策セミナー・教員採用試験模擬面接・教員採用試験論文勉強会を実施しています。

公務員志望者向けには、国家公務員・裁判所事務官・国税専門官・国立大学法人等職員の採用試験説明会を実施しています。

医師国家試験・看護師等国家試験対策として、進路指導懇談会、医学図書館の24時間利用、自習室の確保等で学生をフォローしています。



8. 就職セミナー

産業・職業の研究や自己理解の促進などに関するセミナーを開催し就職活動を支援しています。企業のトップなどを招いてのセミナーでは、企業の方の生の声を聞くことができます。



区 分		免 許	免許教科	資 格	受験者の資格
教育地域科学部	学校教育課程	小学校教諭1種免許状		学校図書館司書教諭	
		小学校教諭2種免許状		(小、中、高、養護のいずれかの免許状を取得し、	
		中学校教諭1種免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、	指定授業科目(5科目10単位)取得	
		中学校教諭2種免許状	保健、家庭、技術、英語	学芸員(指定授業科目から15単位取得)	
		高等学校教諭1種免許状	国語、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、 家庭、英語、地理歴史、公民、書道、工芸、工業	社会教育主事(指定授業科目から24単位取得)	
		幼稚園教諭1種免許状			
		幼稚園教諭2種免許状			
		養護学校教諭1種免許状			
		養護学校教諭2種免許状			
	地域文化課程			学芸員(指定授業科目から15単位取得)	
地域社会課程			社会教育主事(指定授業科目から24単位取得)		
医学部	医学科				医師
	看護学科				看護師 保健師、助産師 (指定科目の単位修得)
工学部	機械工学科	高等学校教諭1種免許状	工業、数学		
	電気・電子工学科		工業、理科	第1級陸上特殊無線技師及び 第2級海上特殊無線技師 (無線通信に関する授業科目取得)	無線従事者* 電気主任技術者** 電気通信主任技術者***
	情報・メディア工学科		工業、数学		
	建築建設工学科		工業、理科	2級建築士、測量士補(建設工学コース)	
	材料開発工学科		工業、理科		
	生物応用化学科		工業、理科		
	物理工学科		工業、理科		
	知能システム工学科		工業、数学		

* * 国家試験免除申請に必要な所定資格取得で、電気主任技術者の資格を取得するための選考検定を受けることができます





ロシア

- ロシア科学アカデミー応用物理学研究所
Institute of Applied Physics, Russian Academy of Science
- モスクワ工科大学
Moscow State Institute of Radioengineering, Electronics and Automation (Technical University)
- モスクワ大学物理学部 Faculty of Physics, Moscow State University
- D.Y. Efremov電気物理研究所精密理工学センター
The Scientific-Technical Center of Microtechnologies of The D.Y. Efremov Institute of Electrophysical Apparatus
- ロシア科学アカデミーシベリア地区物理学研究所 Institute of Physics SB RAS

モンゴル

- モンゴル国立工科大学 Mongolian Technical University

スウェーデン

- ウプサラ大学工学部 The School of Engineering, Uppsala University

ポーランド

- ワルシャワ工科大学化学プロセス工学部
Faculty of Chemical and Process Engineering of Warsaw University of Technology

ドイツ

- ハンブルク大学東洋学部
Faculty of Orientalism, University of Hamburg
- カールスルーエ研究センター パルス出力・マイクロ波研究所
The Institute for Pulsed Power and Microwave Technology of Karlsruhe Research Center
- シュトゥットガルト大学プラズマ研究所
Institute of Plasma Research, University of Stuttgart

フランス

- リヨン繊維・化学技術院 Textile and Chemical Institute of Lyon
- メーン大学 University of Maine

ブルガリア

- ブルガリア科学アカデミー電子工学研究所
Institute of Electronics, The Bulgarian Academy of Science

アラブ首長国連邦

- イティハド大学 Itihad University

インド

- アンナマライ大学工学部
The Faculty of Engineering & Technology of Annamalai University

バングラデシュ

- イーストウエスト大学 East West University
- クルナ科学技術大学
Khulna University of Engineering & Technology (II Bangladesh Institute of Technology, Khulna;BIT)

タイ

- キングモンクト工科大学
King Mongkut's University of Technology Thonburi

インドネシア

- インドネシア大学 University of Indonesia
- Syiah Kuala大学 Syiah Kuala University



福井大学には、派遣留学制度があります。学生の交流を交わしている協定校に短期間派遣する短期留学推進制度、

ークレムソン大学へ:短期留学推進制度で留学してー

木原 由貴さん (教育地域科学部地域文化課程異文化交流コース)

- 留学先: Clemson University, South Carolina U.S.A (アメリカ サウスカロライナ州 立クレムソン大学)
- 期間: 2004年8月~12月 (秋学期)



▲ルームメイトと部屋で

■木原さんの留学生活

	月・水・金		火・木
6:00	起床・勉強	7:00	起床・朝食・でかける準備
7:30	朝食、出かける準備	8:30	図書館など静かな場所を探して勉強
8:00	ボランティアをする小学校へ	11:15	コミュニケーション学の授業
9:00	韓国人の女の子のチューター	12:15	昼食(部屋かダイニングホールで)勉強しながらということも
11:30	寮に戻って、勉強しながら昼食(先生に質問に行くことも)	14:00	コミュニケーション学の授業
13:25	フランス語、英語の授業やラボ	15:30	勉強
17:30	部屋に戻って夕食の準備や、テレビ鑑賞、ルームメイトと談話など		
19:00	授業の準備、課題等勉強、友達と談話、テレビ鑑賞など一時間半ほどは休憩		
0:00	就寝		



▲American Footballの試合前

語りつくせないほどに多くの思い出のつまった4ヶ月で得たものは、英語や学術的なこと、大好きなルームメイト、世界中から集まってきた友達だけではありません。「学ぶことの楽しさ」に感動し、自分になにかを見つけそれを深めていく面白さを知り、高いハードルがあったらそれを乗り越えてみせるというやる気、自信を自分自身の中に感じることができました。さらに、日本から出ることによって、他の国、つまり世界だけでなく、自分の生まれ育った日本、そして地元福井に目が向くようになったことも私のなかでの大きな変化です。このような素晴らしい経験も、チャンスを与えサポートしてくださった大学、教職員の方、アメリカで支えてくださった方々、世界中の友人たちなしには成しえなかったことであり、感謝の気持ちでいっぱいです。これからまだまだいろいろな出会いを求め、世界中の人々との交流の輪を築き、自分自身を高めていきたいと思っています。

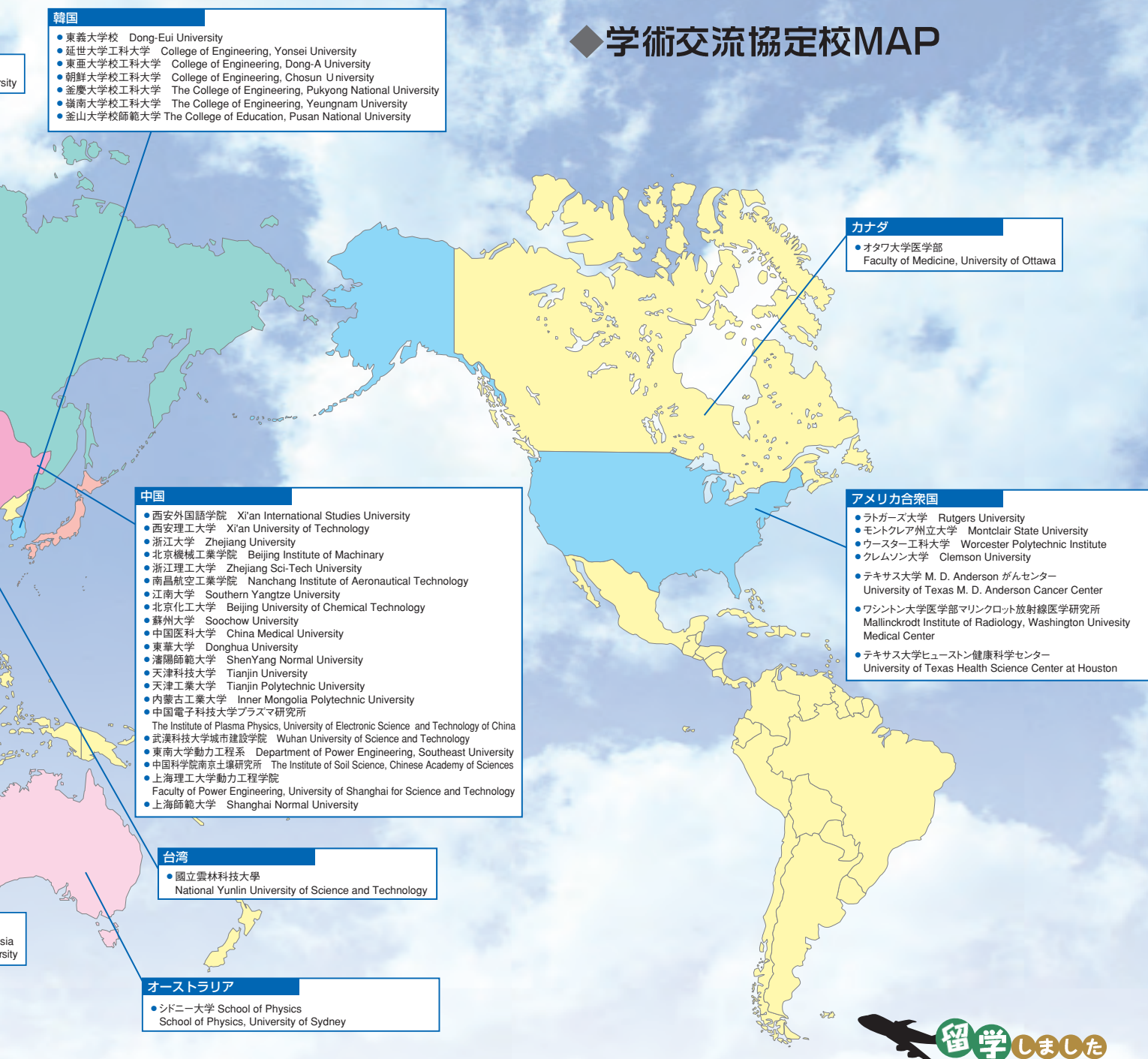
これから入学してくる方に

大学での時間は自由が多いだけに生かすも殺すも自分次第だと思います。与えられたことだけをやればよいという環境でもありません。自分の壁、というか「リミット」を自分で作らずに食欲にチャレンジして欲しいです。



▲Thanks Giving Dayの夕食前

◆学術交流協定校MAP



文部科学省が支援する長期海外留学支援、外国の政府等が奨学金を支給する各国政府奨学金留学生です。

—Clemson Universityから福井大学へ—

Gregory Warren Kheznejatさん

教育地域科学部 特別聴講学生

Regardless of a student's chosen field of study, to remain relevant in our changing society, the ability to function within the context of different cultures and languages is essential. The University of Fukui gives students studying abroad a unique opportunity to develop that skill, both through involvement with the local community as well as with other students from countries around the world. Unlike some universities offering study abroad programs, Fukui is not a language school, tailored to foreign students and engineered specifically to educate them in language alone. Instead, one finds in Fukui a dynamic community of professors, researchers and students, working together to generate an exciting scholastic environment. Here in Fukui, you'll live, work and play



with other students who are passionate about their research; whether you're working in your lab, admiring the storied beauty of Fukui's snowy mountains, or simply enjoying a day at one of Fukui's beaches, you'll do so with other students, both from Japan and from around the world. Studying abroad is an important step for anyone who wishes to understand the implications of a global society, and few places can offer the same depth and variety of valuable experiences as the University of Fukui.



この変わりゆく世界において、学生の学ぶ分野に関わらず異なる文化、言語の中で自分自身を生かす力をつけることがとても大切です。福井大学では、地域、日本人学生、また世界中から集まる学生との交流を通して、欠かすことのできないこの力をつけることができます。留学生にとって福井大学は他大学の留学プログラムとは少し違います。例えば留学生の日本語習得を第一の目的とした語学学校のような要素はなく、教授、研究者、学生の活力に満ちた環境の中で共に学ぶことで、素晴らしい学校生活をもたらしてくれます。研究室にこもり研究をするだけでなく、雪に覆われた福井の山々や美しい海に遊びに行く中で、日本人、世界各国からの留学生と充実した時間を過ごすことができます。「外国で学ぶ」ということは、グローバル社会の意味するものは何なのかと考えるすべての人にとってとても重要な第一歩となるでしょう。私は、福井大学が様々な価値ある経験をすることができる数少ない大学のひとつだと信じています。

■平成18年度学生募集人員（平成19年度入学者選抜要項は7月下旬に公表します。詳細はホームページの「入試情報」をご覧ください。）

学部	課程・コース、学科等		入学定員	募集人員											
				一般選抜		特別選抜					アドミッション・オフィス入試				
						推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ	帰国子女	私費外国人留学生	中国引揚者等子女	AO入試Ⅰ		AO入試Ⅱ		
				前期日程	後期日程						①	②	①	②	
教育学域科学部	学校教育課程	言語教育コース	100	10	6	—	4	各コース 若干名	各コース 若干名	—	—	—	—	—	
		理数教育コース		14	—	—	6			—	—	—	—	—	
		音楽教育サブコース		2	1	2	—			—	—	—	—	—	
		美術教育サブコース		3	—	—	—			—	2	—	—	—	
		保健体育教育サブコース		3	—	2	—			—	—	—	—	—	
		生活科学教育コース		5	2	—	—			—	4	—	—	—	
		社会系教育コース		5	3	—	2			—	—	—	—	—	
		教育実践科学コース		3	2	—	2			—	—	—	—	—	
		臨床教育科学コース		4	2	—	—			—	2	—	—	—	
		障害児教育コース		4	3	—	—			—	3	—	—	—	
		計		52	19	4	14			—	11	—	—	—	
		地域文化課程		生涯学習コース	30	5	2			3	—	各コース 若干名	各コース 若干名	—	—
	異文化交流コース		10	5		—	5	—	—	—	—			—	
	計		15	7		3	5	—	—	—	—			—	
	地域社会課程	行政社会コース	30	11	4	—	5	各コース 若干名	各コース 若干名	—	—	—	—	—	
		地域環境コース		5	3	—	2			—	—	—	—	—	
		計		16	7	7	—			—	—	—	—	—	
	教育学域科学部 計		160	83	33	7	26	若干名	若干名	—	11	—	—	—	
	医学部	医学科		95	55	20	—	20	—	—	—	—	—	—	—
		看護学科		60	30	15	15	—	—	—	—	—	—	—	—
		医学部 計		155	85	35	15	20	—	—	—	—	—	—	—
工学部	機械工学科		75	40	15	—	—	各学科 若干名	各学科 若干名	各学科 若干名	17	—	—	3	
	電気・電子工学科		64	30	22	—	—				7	5	—	—	
	情報・メディア工学科		65	30	20	—	—				—	—	10	5	
	建築建設工学科		65	30	25	—	—				5	5	—	—	
	材料開発工学科		75	40	20	—	—				12	3	—	—	
	生物応用化学科		65	40	15	—	—				8	2	—	—	
	物理工学科		51	20	23	—	—				—	—	6	2	
	知能システム工学科		65	30	23	—	—				7	5	—	—	
工学部 計		525	260	163	—	—	若干名	若干名	若干名	56	20	16	10		
合 計		840	428	231	22	46	若干名	若干名	若干名	87	26	113	—		

一般選抜

大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書等の結果を総合して選抜します。
大学入試センターの利用教科・科目や個別学力検査で課す科目等は学部・学科、コースにより異なるので必ず「学生募集要項」でご確認ください。

■名古屋試験場

平成18年度一般選抜学生募集から、工学部（全学科）の前期日程のみ、本学の文京キャンパス以外に、名古屋市内にも試験場を設置し、個別学力検査を実施しています。

特別選抜

■推薦入学

出身高校長等の推薦に基づき個別学力検査を免除し、調査書、実技検査、面接及び小論文等の結果を総合して選抜します。推薦入学には大学入試センター試験を課さないもの（推薦Ⅰ）と、課すもの（推薦Ⅱ）があります。

■帰国子女

大学入試センター試験は免除します。選抜方法は学部により異なるので、必ず「学生募集要項」でご確認ください。

■私費外国人留学生

大学入試センター試験は免除します。選抜方法は学部により異なるので、必ず「学生募集要項」でご確認ください。

■中国引揚者等子女

大学入試センター試験を免除し、口述試験（又は簡単な筆記試験）、面接、出願書類等の結果を総合して選抜します。

AO入試

AO入試は総合評価方式による選抜です。学部・学科、コース毎のアドミッションポリシー（求める学生像）に応じ、志望理由書、自己推薦書、調査書、面接、口述試験、実技試験、小論文、講義等理解力試験、プレゼンテーション等による各学部・学科、コースそれぞれのAO入試を実施します。

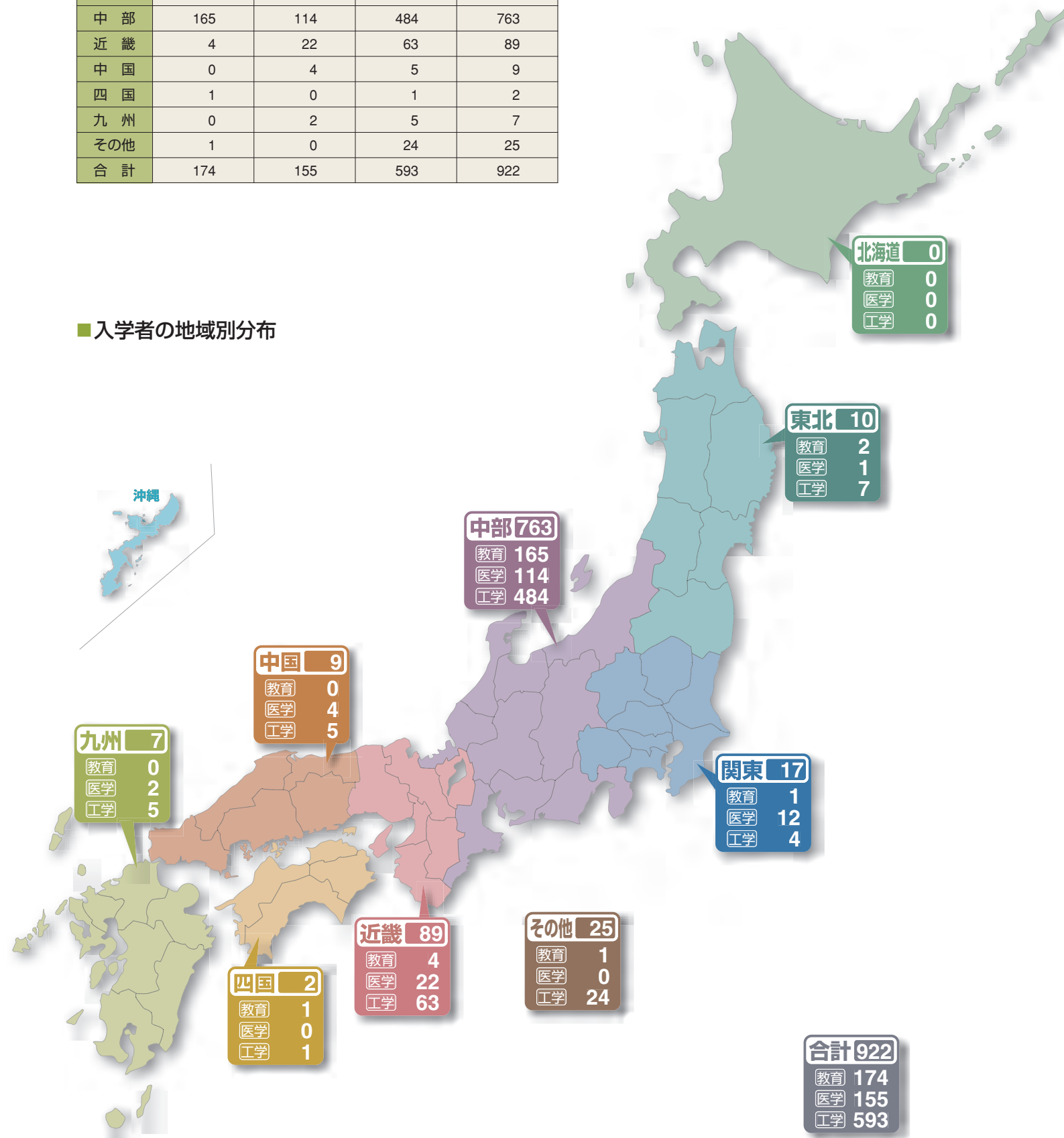
AO入試Ⅰは大学入試センター試験を課さず、AO入試Ⅱは大学入試センター試験を課します。

①②は各学部・学科、コースにより異なるので「学生募集要項」でご確認ください。

■平成18年度入学者地域別一覧

地 域	教育地域科学部	医学部	工学部	合 計
北海道	0	0	0	0
東 北	2	1	7	10
関 東	1	12	4	17
中 部	165	114	484	763
近 畿	4	22	63	89
中 国	0	4	5	9
四 国	1	0	1	2
九 州	0	2	5	7
その他	1	0	24	25
合 計	174	155	593	922

■入学者の地域別分布



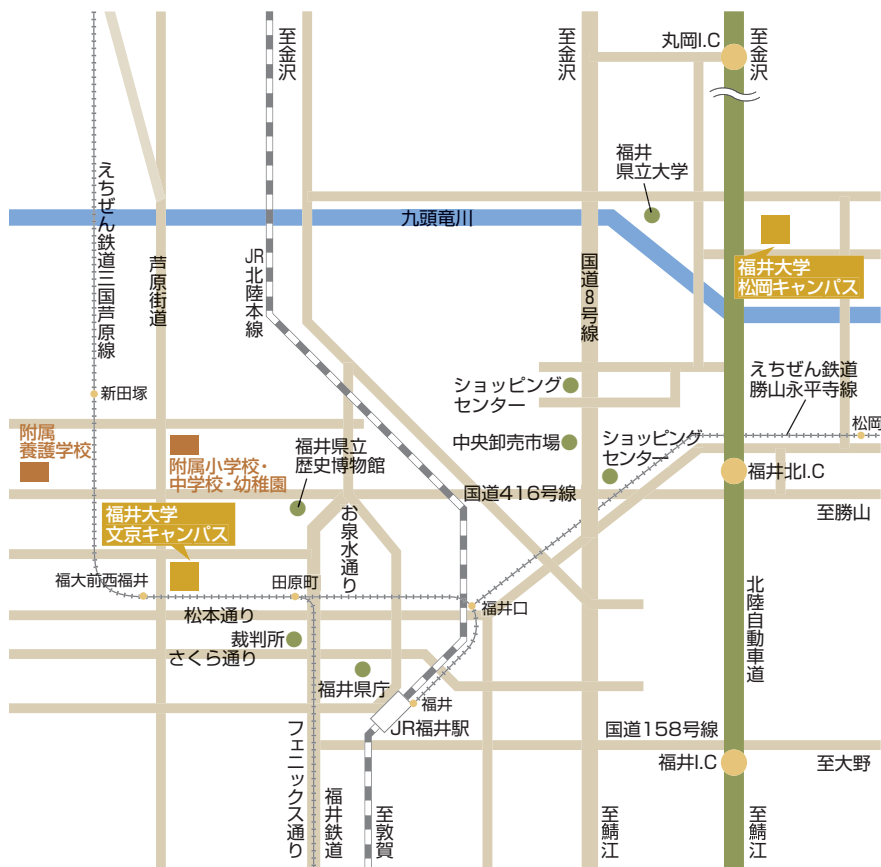


福井大学の学章です！

作者：柳本 芳亮氏（東京都町田市在住）

学章の意味

二つの円が結びつき、無限大（インフィニティ）の形を形成しています。それらの円は統合前の「福井大学と福井医科大学」を、また理念にある「科学と技術」を表し、無限大は新大学の可能性を表現しています。中央の反転部には、福井大学の頭文字である“f”を表出させています。色は「福井の美しい海と空」、「若さと知性」を表すブルーとしました。



福井大学広報センター 福井大学総務部総務企画課

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号 TEL(0776)27-9733 FAX(0776)27-8518 E-mail:koho@sec.icpc.fukui-u.ac.jp URL <http://www.fukui-u.ac.jp>



国立大学法人

福井大学
UNIVERSITY OF FUKUI

文京キャンパス（教育地域科学部・工学部）
〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号
TEL(0776)23-0500

松岡キャンパス（医学部・附属病院）
〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地
TEL(0776)61-3111



古紙配合率100%再生紙を使用しています